

2026 年度
履修・外国語選択の手引き

立命館大学

1	はじめに	1
2	初修外国語選択にあたって	3
3	各学部の履修について	8
	法学部	8
	産業社会学部	10
	国際関係学部	12
	文学部	14
	デザイン・アート学部	18
	経済学部	20
	スポーツ健康科学部	22
	食マネジメント学部	24
	理工学部	26
	生命科学部	30
	薬学部	31
	経営学部	33
	政策科学部	38
	総合心理学部	42
	グローバル教養学部	44
	映像学部	45
	情報理工学部	46

入学後、学部ごとに履修ガイダンスを実施しますが、ここでは、みなさんに入学前に知っておいていただきたい履修の概要を説明します。下記の「**1**はじめに」・「**2** 初修外国語選択にあたって」に目を通してから、「**3** 各学部の履修について」を熟読してください。「**2** 初修外国語選択にあたって」では、大学でどの外国語を選択するかの参考となるよう、英語以外の外国語（初修外国語）について説明しています。入学前に外国語科目の選択を行う必要のある学部のみなさんは、熟読のうえ、外国語科目を選択してください。

1 はじめに

履修の概要は以下のとおりです。各項目の詳細については、「**3** 各学部の履修について」を参照してください。

1 卒業するために必要な単位数について

各学部で「卒業するために必要な単位数」を定めています。それぞれの分野（教養科目、外国語科目、専門科目等）で必要な単位数があり、そのうえで、総単位数を定めています。

2 外国人留学生（※）の科目履修について

学部ごとに異なります。詳細は各学部のページを参照してください。

※この冊子でいう「外国人留学生」とは、各種留学生入試による合格者を指します。

3 外国語科目の選択について

外国語科目は所属学部の履修カリキュラムに沿って学びますので、学部によって選択できる外国語が異なります。英語以外の外国語科目の選択にあたっては、「**2** 初修外国語選択にあたって」を参照のうえ、インターネット入学手続で「外国語選択」の登録を行ってください。インターネット入学手続の操作方法は別冊子の「入学手続要項」を参照してください。

* 英語専修の学部や入学後に選択する学部では「外国語選択」の登録は不要です。

* 下表で「外国語選択」の登録が必要となっている場合でも、法学部・産業社会学部・国際関係学部に入学者外国人留学生および法学部・産業社会学部・国際関係学部・文学部のSMU-DUDPの方は、「外国語選択」の登録は不要です。

【「外国語選択」登録の要否一覧】

学部名	初修外国語選択	インターネット入学手続での「外国語選択」登録
法学部、産業社会学部、 国際関係学部国際関係学科、文学部、 経済学部、経営学部、食マネジメント学部	入学前選択	必要
政策科学部	入学後選択	外国語選択の代わりに政策科学部「EPS 科目選択」の登録が必要
映像学部、スポーツ健康科学部、理工学部、 情報理工学部、生命科学部、薬学部、 総合心理学部、国際関係学部アメリカン大学・ 立命館大学国際連携学科、グローバル教養学部、 デザイン・アート学部	英語専修のため選択なし	不要

4 英語クラス分けテスト（オンライン）について

大学での外国語学習の第一歩として英語クラス分けテストを実施します。

春学期の英語授業からクラス分けテストの結果により習熟度（レベル）別クラス編成を行いますので、各自が習得レベルにふさわしいクラスで最も効果的な授業を受けるために、新入生のみなさんは必ず受験してください。

※入学学部・入試方式等により入学前教育などの一環で別途英語能力試験を受験される方、高校等で英語能力試験を受験されたことのある方も、この英語クラス分けテストを受験する必要があります。

【各学部の英語クラス分けテスト（オンライン）について】

詳細はこの URL からアクセスしてください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>

キャンパス	学部	2026 年度新入生クラス分けテスト
衣笠	法学部	TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）
	産業社会学部	
	文学部	
	国際関係学部	TOEFL ITP® テスト デジタル版
	デザイン・アート学部	クラス分けテストは実施しません（*2）
びわこ・くさつ （BKC）	経済学部	CASEC
	スポーツ健康科学部	
	食マネジメント学部	TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）
	理工学部	
	生命科学部	
	薬学部	
大阪いばらき （OIC）	総合心理学部	GTEC Academic
	映像学部	TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）
	経営学部	
	情報理工学部（*1）	クラス分けテストは実施しません（*3）
	政策科学部	クラス分けテストは実施しません（*3）
	グローバル教養学部	クラス分けテストは実施しません

（*1）Information Systems Science and Engineering Course(ISSE)を除く

（*2）デザイン・アート学部の学生は、習熟度を自身で確認するために、「TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）」を受験してください。詳細は、本冊子 P.19 「4 入学前英語オンラインテストについて」を参照してください。

（*3）政策科学部の学生は、習熟度を自身で確認するために、「TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）」を受験してください。詳細は、本冊子 P.41 「5 入学前英語オンラインテストについて」を参照してください。

【学内英語団体受験】

学生のみなさんが自分自身の英語力をはかることができるよう、学内で TOEIC®L&R テスト、TOEFL® テストの団体受験を実施しています。英語学習の到達度をはかるため、また留学や大学院進学、就職活動など、将来へのキャリアアップに備えて、団体受験をぜひ活用してください。

*学部により、受験の義務化や、受験料補助制度があります。

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/dantai.html/>

【CLA 講座】

言語習得センター（CLA）では、TOEIC®L&R テスト・TOEFL® テスト・IELTS テストの3つの英語検定試験の受験に向けた対策講座（課外有料講座）を開講しています。将来の就職・大学院進学や海外留学など、みなさんの目的に合わせて CLA 講座を活用してください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/cla/>



5 その他の事項について

各学部の教学の特色に関わって、パソコン（PC）の購入など入学前にお知らせしたい事項を記載しています（この記載がない学部もあります）。

2 初修外国語選択にあたって

初修外国語
紹介動画



1 立命館大学での外国語の学び

立命館大学では、学生の外国語運用能力を高めるための多様なプログラムを用意しています。学生一人ひとりが必修外国語や副専攻などの正課授業に加え、課外での外国語学習（コミュニケーションルーム等）を通じて、留学や国際インターンシップなどの海外経験を得る機会を数多く用意するとともに、国際分野の進路・就職に必要な高いレベルの外国語運用能力の獲得を目指しています。

また、高い専門性を反映した外国語運用能力獲得のために、外国語による専門科目授業も展開しています。

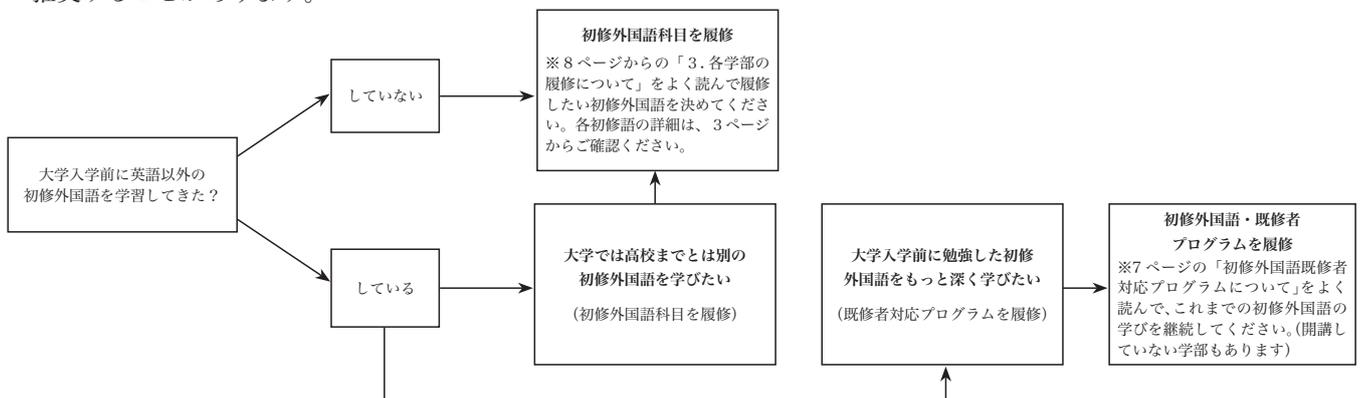
各学部の特徴により、英語専修の場合と初修外国語の選択履修を求める場合があります（「**3** 各学部の履修について」を参照）ので、確認のうえ、以下の説明をお読みください。

* 初修外国語とは、大学で初めて学ぶ外国語として位置付けている英語以外の外国語です。大学入学前に高校での学習経験がある人や海外生活などにより外国語運用能力を身につけている方（既修者）は、「**3** 初修外国語既修者対応プログラムについて」（P.7）を見てください。

* 第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません。

（判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センター（P.7 参照）へご相談ください。）

入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判明した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。



2 英語以外の外国語科目について

●ドイツ語

ドイツ語紹介
ページ・動画



①ドイツ語について

ドイツ語はドイツ、オーストリア、スイスなどで公用語として使用されており、母語話者数は1億人を超えています。これらの国々は、伝統的に哲学や文学、芸術などの分野で世界を牽引するとともに、近代においては産業や科学技術の面でも多大な貢献をしています。明治時代以降の日本の近代化も、法制度や医学、経済学、哲学、音楽など、大きな影響を受けています。

②ドイツ語の特徴

ドイツ語は、言語学的には英語やオランダと同じ西ゲルマン語群に属していることから、比較的英語と類似した言語です。発音については例外が少ないため、一定の規則を覚えさえすれば、すらすらと発音ができるようになります。文法的には英語よりも複雑な面がありますが、順序よく学んでいけば、文法を手がかりにパズルを解くように明快に意味を理解することができます。

③学習の方法・ポイント

言葉は「使えてなんぼ」です。まずは「初めて知り合うときの挨拶」「市場での買い物」「レストランでの食事」「列車に乗る」といった実際の場面から、表現、語彙、文法を総合的に学んでいきましょう。ドイツ語を何度もよく聞き発音し、言葉のリズムを身につけることが習得の近道です。そして教室で学んだことはしっかり復習をしましょう。そうすれば、次の新しいことが楽に学べます。学んだ成果は、ドイツ語技能検定試験やゲーテ・インスティトゥートの検定試験を受けて確かめましょう。合格の実績は次のステップへの自信になりますよ。さらに各学部で学んだドイツ語は、副専攻のドイツ語コースなどでより深く勉強することができます。

④留学プログラムについて

ドイツ語圏でドイツ語やドイツ語文化を学ぶ機会として、立命館大学には、「現地で学ぶ初修語セミナー（ドイツ語）」（2月～3月の約4週間、ライプツィヒ大学）や、交換留学プログラムがあります。交換留学プログラムでは、ドイツの協定校（ベルリン・フンボルト大学、ケルン大学、ヴェルツブルク大学、ザーラント大学、フライブルク大学、チュービンゲン大学）で1年間学ぶことができます。留学は将来の可能性を広げる素晴らしいチャンスです。是非チャレンジしてください！

●フランス語

フランス語紹介



①フランス語について

ページ・動画

フランス語は政治・学術・文化の領域でたいへん重要な役割を果たしてきました。近世から現代まで、教養人の言語として、世界中で通じる共通語と見られてきたのです。現在でも、カナダ、ベルギー、スイス、モナコ、ルクセンブルク等の欧米諸国をはじめ、さらにアフリカの30ヶ国でも、母語あるいは公用語として用いられています。国連やオリンピックの共通語でもあります。また、フランス語話者の国際組織であるフランコフォニー国際機構も、活発に活動しています。

②フランス語の特徴

フランスは文化的にも非常に影響力のある国ですから、日本語になったフランス語もたくさんあります。みなさんが何気なく使っている「デビュー」「コンクール」「グルメ」「マヨネーズ」なども、もともとはフランス語です。ですので私たちにも、とても身近なことばです。また発音が非常にきれいなだけでなく、母音を重視するために日本語話者にも学びやすい言語です。この機会にぜひフランス語を学習して、その美しさを体感してみてください。

③学習の方法・ポイント

大学でのフランス語学習では、コミュニケーション・文法・語彙を同時に学んでいきます。ですので、授業は実用的な場面から離れることなく進められます。毎回真面目に出席することで、フランス語力は確実に向上していきます。初歩の授業を終えた後、さらにフランス語の力を伸ばしたい方には、フランス語の特別コースや交換留学の可能性も開かれていますので、積極的にチャレンジして、確かなフランス語力を身につけてください。

④留学プログラムについて

フランス本国で勉強したくなったら、短期留学制度としては、南仏のトゥールーズで3週間のホームステイを体験する「現地で学ぶ初修語セミナー」があります。また1年間にわたる長期留学に挑戦したい人のために、ボルドー・モンターニュ大学、リヨン第3大学、エクス＝マルセイユ大学などとの交換留学制度も用意されています。この素晴らしい学習環境を活かして、フランス語の力を伸ばし、未来を切り開いてくれることを祈っています。Bon courage！（がんばって！）

●中国語

中国語紹介



①中国語について

ページ・動画

中国語は、中国大陸だけでなく、台湾や東南アジアの華人社会などにおいても使われています。世界の5人に1人が母語話者であり、国連公用語にもなっています。私たちがこれから学ぼうとする中国語は中国大陸では“漢語”とよべれます。最大の民族である漢民族のことば、という意味です。中国大陸では規範化された中国語を“普通話（プートンホア、標準語に相当）”といい、台湾では“華語/国語”とよんでいます。

②中国語の特徴

中国語は孤立語というタイプに属する言語です。中国語には形態変化がなく、機能語（虚詞）によって、テンス（時制）やアスペクト（相）をおぎなっていく言語です。簡単な文法ルールから順に身につけていくことになります。また、中国語の発音の最大の特徴は「声調」があることです。音のまとまりを「音節」といいますが、その一つ一つの音節に上がり下がりパターンがあるのです。“普通話”、“華語/国語”においては4つの「声調」があり、それを「四声（しせい）」といいます。

③学習の方法・ポイント

中国大陸で用いる簡略化された漢字を“簡体字”といいます（香港や台湾では“繁体字”を用いる）。これは公式な文字で、新聞やインターネットでもみられる文字です。これを覚える必要がありますが、私たち日本人は漢字を

使うので、欧米の人が中国語を学ぶことに比べて、それだけでも中国語学習のハードルが低くなっているといえます。日本人にとって学びやすい言語であることは間違いありません。でも、読み方は全く異なりますから、まずは発音を身につけ、文の組み立て方、簡単な文法ルールから順番に学んでいくことから始めましょう。

④留学プログラムについて

現在、北京大学、南開大学（天津）、東北財経大学（大連）、対外経済貿易大学（北京）、上海交通大学、深圳大学、国立台湾師範大学（台北）など、数多くの大学との間に交換留学制度（半年または1年）が設けられています。さらに北京大学、国立台湾師範大学への「現地で学ぶ初修語セミナー（約1ヶ月）」もあります。このような環境を十分にいかして、ぜひ中国語をしっかり学んでいきましょう。

●スペイン語

スペイン語紹介



①スペイン語について

ページ・動画

スペイン語は古代ローマ帝国のラテン語を源流に持ち、フランス語やイタリア語、ポルトガル語と姉妹言語です。今日、スペインやラテンアメリカ諸国など20カ国以上の公用語で、約5億2千万人の母語です。アメリカ合衆国でも、スペイン語話者は5千万人を超えるとも言われます。

スペイン語圏は広大で、豊かな自然があり、各地に独特の歴史・文化・社会が築かれています。スペイン語の扉を開けば、サッカー、フラメンコはもちろんですが、メキシコのピラミッドやペルーのマチュピチュ、ボリビアのウユニ塩湖、南米のパタゴニアなど、限りない魅力が見えてくることでしょう。

②スペイン語の特徴

日本語とほぼ同じ5母音を持つので、私たち日本人にとって発音するのがやさしい言語です。基本的にローマ字読みで響きもいいので、車の名前（「セレナ」や「シエンタ」）やサッカーチームの名前（「セレッソ」や「マリノス」）などによく使われていますね。西欧諸国の中でも、大航海時代、ポルトガルと並んで最初に日本と接触したのがスペインだったので、「pan」や「tabaco」など、スペイン語がそのまま日本語になったものもあります。初めのうちは英語とは異なる文法に戸惑うかもしれませんが、繰り返し練習し、一つ一つ積み重ねていけば大丈夫です。

③学習の方法・ポイント

基本的に、文法や講読の授業は日本人教員が担当し、会話の授業はネイティブ教員が担当します。総合的なスペイン語運用能力を身につけることができるように、体系的でバランスの取れたカリキュラムを用意しています。副専攻に進めば、高度なスペイン語能力だけでなく、スペイン語圏の歴史・文化・社会についての専門的知識の獲得が可能です。学びの成果を目に見える形で示すことのできるよう、日本スペイン協会主催のスペイン語技能検定を受けましょう。また、留学を目指す人は、スペイン教育・職業訓練省主催のDELEにもチャレンジしてください（共に受験料補助制度あり）。

④留学プログラムについて

短期留学としては、1か月間ホームステイをしながらアルカラ大学（スペイン）、あるいはモンテレイ工科大学（メキシコ）でスペイン語を学ぶ「現地で学ぶ初修語セミナー」が用意されています。また長期留学（交換留学）の認定校としては、スペインのバルセロナ自治大学、グラナダ大学、アリカンテ大学、ハエン大学、バスク大学、ならびにメキシコのモンテレイ工科大学とメキシコ大学院大学、アルゼンチンのラ・プラタ国立大学があります。ぜひ留学のチャンスをつかんでスペイン語圏の魅力に直に触れ、将来の可能性を広げてください。

●朝鮮語

朝鮮語紹介



①朝鮮語について

ページ・動画

朝鮮語（韓国語）は朝鮮半島、つまり大韓民国や朝鮮民主主義人民共和国で話されている言語です。朝鮮半島の人口7500万人に加えて中国やアメリカ、日本などで暮らす在外コリアンの総数は700万人にのぼり、世界各地に朝鮮語を話す人たちのコミュニティやコリアタウンが存在しています。ニューヨーク、シドニー、ロンドン、北京など、世界の都市を旅行すれば朝鮮語を話す人々とかならず出会うことができます。もちろん日本でも、たとえば大阪・生野や東京・新大久保のコリアタウンでは朝鮮語の会話とハングルが日常的にあふれていて、そのようすを耳や目で体験した人も多いのではないのでしょうか。

②朝鮮語の特徴

みなさんは初めて英語を習ったときに、日本語の「私はリンゴを食べます」をなぜ「私は一食べますーリンゴを」と語順を変えて話さなければならないのか、悩んだことがあるはず。しかし朝鮮語では「私はーリンゴを一食

べます」、つまり日本語と同じ語順なので、比較的入門しやすい言葉と言えます。ハングルの文字は難しそうに見えますが、実は子音と母音の記号の組み合わせなので、基本的な子音と母音の記号と発音を覚えてしまえば、すぐに声に出して読むことができるようになります。

③学習の方法・ポイント

立命館大学の朝鮮語授業は、ネイティブをふくめたフレンドリーな教員たちと、韓国ドラマやK-Popも取り入れながら会話や文法の基礎を楽しく学んでいきます。授業内容の復習を毎日短時間くりかえすのが学習の基本ですが、インターネットを通じて触れることのできるさまざまな韓流音楽や映像コンテンツを上手に使い、さらに立命館に来ているたくさんの韓国人留学生ともことばをかわせば、目に見えて上達するようになります。

④留学プログラムについて

韓国への留学は、延世大学や慶熙大学、釜山国立大学など、韓国内にある12校の協定大学へ1年ないし半年間留学する交換留学や、春休み1ヶ月間ソウルの高麗大学に滞在する「現地で学ぶ初修語セミナー」、ことばの背後にある歴史と文化を学び体験する「平和人権フィールドスタディーズ韓国プログラム」など、韓国で学ぶ多様なプログラムがあります。エネルギー溢れる韓国の大学での学びを、是非経験してください。

●イタリア語

イタリア語紹介



ページ・動画

①イタリア語について

イタリア語は、イタリアとスイスの公用語であるほかに、南北アメリカ大陸からオーストラリアまで世界中に散らばるイタリア系移民の子孫のあいだでいまなお息づいています。外国語としてイタリア語を学ぶ動機は実に様々です。美術、音楽、歴史を学ぶ人の「共通語」としてだけでなく、食文化やファッション、観光産業に興味のある人もイタリア語を話します。それは芸術そのものがイタリア発祥であり、世界の文化財の7割がイタリアにあると言われるほどの「文化大国」であるからです。イタリア語を「扉」とすれば、文化と芸術の面で、なにかしらこころの琴線にふれるものがみつけれられるはずです。

②イタリア語の特徴

ことばの真の意味を知るために語源をたどっていくと、しばしば1500年以上前にローマ帝国で人々が話していた「ラテン語」に行きつきます。そのラテン語にもっとも近いイタリア語は、古いかたちを今に残す言葉です。よって現代のイタリア語を学び、世界的名著であるダンテの『神曲』（14世紀）を原語で読むのも無理ではありません。発音の基本は「ローマ字読み」（カタカナ読み）なので日本語話者にとってやさしく、あえて学ばなくともできてしまうほどです。文法の習得は焦らず、初級のうちは語彙力さえ付けていけばなんとかなります。

③学習の方法・ポイント

日本の大学ではめずらしく専属のネイティブ教員を配しており、たいへん充実したイタリア語教育を行っています。授業外でも、ネイティブ教員がコミュニケーションルームにて学習相談に応じており、会話の練習などに利用できます。初年度にひととおり文法を学び終えるので、3月と10月に実施される「イタリア語検定」4級をねらえます。さらに努力を重ねれば、国際的に認められているCILS（チルス）等の検定にもチャレンジできます。

④留学プログラムについて

理想的なのは、イタリアの大学への長期留学（1年もしくは半年）です。協定大学（ローマ・ラ・サピエンツァ大学、ボローニャ大学、ナポリ東洋大学、ベネチア大学、トリノ大学）に交換留学生として行くか、休学してローマ、フィレンツェ、ボローニャといった街にある国立大学に聴講生登録するか、それぞれのメリットとデメリットを見極めて決めるとよいでしょう。文学部の学生は、イタリアの大学付属の語学学校に短期間（3-4週間）留学し、集中してイタリア語の習得に取り組むことが可能です。食マネジメント学部の学生は、北イタリアで行われるフィールドワークと、食科学大学（UNISG）での集中講義を取り入れた、ガストロノミックスタディプロジェクトに参加することもおすすめです。留学については、臆せず教員に相談しましょう。

※ 初修外国語選択にあたっては、初修外国語紹介のホームページも参考にしてください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/secondlanguage/>



3 初修外国語既修者対応プログラムについて

大学入学前に高校での学習経験がある人や海外生活などにより外国語運用能力を身につけている人(既修者)を対象に、その力を本学においてさらに伸ばすことを目的として一段高いレベルから受講できる「既修者対応プログラム」を設置しています。

〈対象言語〉 学部・学科・学域・専攻により選択できる言語が異なります。

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語

〈履修対象者〉

法学部、産業社会学部、国際関係学部（国際関係学科のみ）、文学部、経済学部（経済専攻のみ）、経営学部、政策科学部（政策科学専攻のみ）に所属している学生で、下記の①～③のいずれかに該当する者

①高等学校等で、対象言語を授業として履修した者（当該言語について4単位相当以上学習した程度が目安）

【参考：1単位は45分授業を週1回・1年間学習するものとする】

②当該言語圏の国・地域で原則として1年間以上在住し帰国した者

③上記①～②と同等レベルの語学力がある者

〈履修手続〉

「新入生のためのスタートアップサイト」に掲載されるプログラムの募集要項をよく確認し、締切までにWebから申し込みをしてください。その上で、新入生オリエンテーション期間中に実施する既修者対応プログラムガイダンスに出席してください。詳細は、募集要項で確認してください。

*必ず「外国語選択」の登録を行ってください。

*外国人留学生は、出身国・地域の第一言語（母語）を履修することはできません。

*履修対象レベルの判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センターへご相談ください。

*学部・学科・専攻によって対象のコースなどが異なるので、注意してください。

学部・学科・専攻		対象
法学部		全員
産業社会学部		全員
国際関係学部	国際関係学科	全員
	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	受講できません
文学部		全員
経済学部	国際専攻	受講できません
	経済専攻	2言語コース
経営学部	経営学科	2言語コース(留学生はコースBのみ)
	国際経営学科	2言語初修重視コース
政策科学部	政策科学専攻	全員

【問い合わせ先】

言語教育センター（衣 笠）075-465-7878

” （BKC）077-561-3358

” （OIC）072-665-2061

月～金 9:00～17:00（11:30～12:30、土・日・祝日を除く）

3 各学部の履修について

法学部

1 卒業するために必要な単位数について

【法学科】

分野	外国人留学生以外	外国人留学生
教養科目	18 単位以上	18 単位以上
外国語科目	12 単位以上	12 単位以上
(英語)	6 単位以上	6 単位以上
(初修外国語)	6 単位以上	
(日本語)		6 単位
専門科目	78 単位以上	78 単位以上
合計	124 単位以上	124 単位以上

2 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録を行ってください（外国人留学生は登録不要です）。

初修外国語は、「外国語選択」の登録をもとに決定します。第3希望まで必ず登録してください。

登録後の変更はできませんので、よく検討して手続きしてください。

法学部では、英語を6単位以上、初修外国語を6単位以上履修します。ただし、外国人留学生（外国人留学生入試で入学された方）は、英語を6単位以上、日本語を6単位履修します。

初修外国語は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語のなかから必ず第3希望まで登録してください。希望をできるかぎり尊重して4月からのクラスを編成します。

- * 大学入学前にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学んでいたみなさんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は、「初修外国語既修者対応プログラムについて」(P.7)をよく読んで手続きしてください。なお、履修に関わっての留意事項がありますので「初修外国語既修者対応プログラム」への登録を検討されている場合は、事前に法学部事務室に相談してください。
- * 第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません。判断に迷う場合は、選択前に言語教育センター（P.7 参照）へご相談ください。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判断した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。

◎外国語の履修

() 内は1週間の授業回数

・外国人留学生以外

	英語	初修外国語	
1 回生春学期	英語 I (2)	〇〇語基礎 (2)	〇〇語表現 I (1)
1 回生秋学期	英語 II (2)	〇〇語展開 (2)	〇〇語表現 II (1)
2 回生春学期	英語 III (1)	—	—
2 回生秋学期	英語 IV (1)	—	—

* 「〇〇」は各人が選択した初修外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語のいずれか1言語)

・外国人留学生

	英語	日本語		
1 回生春学期	英語 I (2)	日本語 VII (文章表現 a) (1)	日本語 VII (聴解口頭 a) (1)	日本語 VII (読解 a) (1)
1 回生秋学期	英語 II (2)	日本語 VII (文章表現 b) (1)	日本語 VII (聴解口頭 b) (1)	日本語 VII (読解 b) (1)
2 回生春学期	英語 III (1)	—	—	—
2 回生秋学期	英語 IV (1)	—	—	—

3 英語クラス分けテスト (オンライン)

法学部では、入学前英語クラス分けテスト (テスト種別: TOEIC®L&R IP テスト (オンライン)) を実施します。

このテストの結果により習熟度に合わせたクラス編成を行います。

適切なクラスで受講することにより学習効果を高めることが目的ですので、新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内 (新入生の英語クラス分けテストのページ)
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



1 卒業するために必要な単位数

【現代社会学科】

分野		外国人留学生以外	外国人留学生
教養科目		20単位以上	20単位以上
外国語科目		12単位以上 ※	12単位以上 ※
	英語	6単位	6単位
	初修外国語	6単位	—
	日本語	—	6単位
専門科目		62単位以上	62単位以上
合計		124単位以上	124単位以上

※外国語科目を履修できる単位数は12単位までです。詳しい履修方法やカリキュラムについては、入学後に配布される「学修要覧（学部編）」を必ず確認すること。

外国人留学生とは、各種留学生入試による合格者を指します。

*英語を母語とする学生の履修について

英語を母語とする学生は、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」「朝鮮語」のうちひとつの言語を選択して履修します。

2 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録を行ってください（外国人留学生は登録不要です）。

「外国語選択」の登録では初修外国語を必ず第3希望まで登録してください。

登録後の変更はできません。

*希望が集中した場合は、抽選の上、第2希望または第3希望の語種になることがあります。

産業社会学部では、言語運用能力を高めつつ異文化を理解する力を育成するために、英語と初修外国語の2つの外国語を学びます。外国語学習としては1回生で、英語6単位と初修外国語6単位を学びます。初修外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語から1つの言語を選んで学びます。ただし、外国人留学生（外国人留学生入試で入学された方）は、英語を6単位、日本語を6単位履修します。

本冊子のP.3からP.7に掲載されている「**2**初修外国語選択にあたって」も参照し、どの言語を学ぶかを選択してください。

2回生以上では、英語副専攻やグローバルスタディプログラム、展開英語科目群を履修することで、英語を学び続けることができます。

*大学入学前にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学んでいたみなさんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。「**3**初修外国語既修者対応プログラムについて」(P.7)をよく読み、手続してください。

語学レベルによっては初修外国語既修者対応プログラムの履修が認められない場合があります。

*第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません。判断に迷う場合は、選択前に言語教育センター（P.7参照）へご相談ください。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判断した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。

3 英語クラス分けテスト（オンライン）

産業社会学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC®L&R IP テスト（オンライン））を実施します。

このテストは新入生の皆さんの現時点での英語力を測定するものです。この結果に基づき、本学部での効果的な英語学習を促すために、習熟度別にクラス分けをします。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



国際関係学部

1 卒業するために必要な単位数

【国際関係学科】

科目区分	国際関係学専攻	グローバル・スタディーズ専攻
基礎科目	14 単位以上	14 単位以上
（日本語開講）	10 単位以上	
（英語開講）		10 単位以上
外国語科目	14 単位以上	6 単位以上
（英語）	8 単位以上	
（初修外国語・日本語）	6 単位以上	6 単位以上
専門外国語科目	4 単位以上	12 単位以上
（国際関係学専攻）	4 単位以上	
（Global Studies Major）		12 単位以上
基幹科目	14 単位以上	14 単位以上
（日本語開講）	10 単位以上	
（英語開講）		10 単位以上
専門科目	20 単位以上	20 単位以上
専門科目（日本語開講）	12 単位以上	
（英語開講）		12 単位以上
地域研究科目	8 単位以上	8 単位以上
（日本語開講）	4 単位以上	
（英語開講）		4 単位以上
専門演習	4 単位以上	4 単位以上
卒業研究	2 単位（必修）	2 単位（必修）
合計	124 単位以上	124 単位以上

* アメリカン大学・立命館大学国際連携学科については、入学後、アカデミックアドバイザーが履修計画について説明を行います。

2 外国人留学生の科目履修

上表および以下の説明を参照してください。

3 外国語科目の選択

【国際関係学科】

「外国語選択」の登録を行ってください（外国人留学生の登録は不要です）。

「外国語選択」の登録では希望する初修外国語を必ず第2希望まで登録してください。

登録後の変更はできません。

〔国際関係学専攻〕

外国語の運用能力を高めるために、英語を8単位以上、初修外国語[*1]を6単位以上履修します。ただし、外国人留学生（外国人留学生入試で入学された方）は初修外国語の代わりに日本語を6単位以上履修します。

〔グローバル・スタディーズ専攻〕

「英語を」学ぶのではなく、「英語で」専門を学ぶために必要な英語のスキルを身につけるための「専門外国語」(Academic Skills) [*2]を12単位以上履修します。また、外国語として初修外国語[*1]を6単位以上履修します。ただし、入学時に日本語の履修が必要と判断された方は、初修外国語の代わりに日本語を6単位以上履修します。

[*1] 国際関係学科で選択できる初修外国語は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語の中から1言語です。第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません（判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センター（P.7参照）へご相談ください）。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判明した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。

なお、大学入学前にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学んでいた方のために、一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は「**3** 初修外国語既修者対応プログラムについて」(P.7)をよく読んで必要な手続をしてください。

[*2] グローバル・スタディーズ専攻で、入学時に一定の英語レベルに到達していない場合は、「専門外国語」を履修する前に、英語科目の履修を課されることがあります。

【アメリカン大学・立命館大学国際連携学科 (Joint Degree Program)】

「英語を」学ぶのではなく、「英語で」専門を学ぶために必要な英語のスキルを身につけるための「Academic Skills」を12単位履修します。外国語として初修外国語は履修できません。ただし、入学時に日本語の履修が必要と判断された方は、中級レベル以上の日本語能力を修得することが求められるため、「Academic Skills」に加えて日本語を履修します。

4 英語クラス分けテスト (オンライン)

国際関係学部では、入学前英語クラス分けテスト(テスト種別: TOEFL ITP® テストデジタル版)を実施します。

国際関係学専攻1回生担当の「English for International Studies」I、II、IVおよびグローバル・スタディーズ専攻1回生担当の「Academic Skills」I～IIIは、受講生の習熟度別にクラス編成をしています。

このテストのスコアは、クラス分けの判定材料として活用されます。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下のWebサイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内 (新入生の英語クラス分けテストのページ)

<https://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/online/>



1 卒業するために必要な単位数

【人文学科】

分野		必要単位
教養科目 基礎科目		24 単位以上
外国語科目		14 単位以上
うち、右の 単位は必修	第1外国語	8 単位必修
	第2外国語	6 単位必修
専門科目		70 単位以上
合 計		124 単位以上

2 外国語科目の選択

文学部では、第1外国語8単位、第2外国語6単位を必修科目として履修します。選択できる外国語は学域により異なります。「外国語選択」の登録には、第1外国語欄および第2外国語欄がありますので、選択方法をよく読んで、それぞれの欄に希望する外国語科目を入力してください（外国人留学生は、日本語を第1外国語として必ず履修します）。なお、第1外国語欄と第2外国語欄の両方に同じ語種を記入することはできません。各学域で選択できる外国語は、P.15の通りです。

- *第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません（判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センター（P.7参照）へご相談ください）。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判明した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。
- *大学入学前にドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学んでいたみなさんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は、「**3** 初修外国語既修者対応プログラムについて」(P.7)をよく読んで手続をしてください。

*「外国語選択」の登録を行ってください。**登録後の変更はできません。**

*文学部では、1回生時には学域に所属し、2回生進級時には所属する学域の中から専攻を1つ選択します。

この専攻選択を念頭に置いて語種選択をする必要があります。また、各専攻で受講が推奨されている語種がありますので、後述の学域ごとの語種選択の留意点を参照のうえ、受講する語種を決定してください。

（専攻選択では、希望調査などを丁寧に行い、専攻を決定します。各専攻に設定された「最大受入人数」までは希望者全員が受け入れられます。）

*外国人留学生は第2外国語のみ履修希望語種を選択してください。

〈各学域で選択できる外国語〉

外国人留学生以外

学 域	名 称	第1外国語						第2外国語						
		英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	ス ペ イ ン 語	朝 鮮 語	イ タ リ ア 語	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	ス ペ イ ン 語	朝 鮮 語
人間研究学域 ※		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
日本文学研究学域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本史研究学域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東アジア研究学域					○		○		○	○	○	○	○	○
国際文化学域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域研究学域		◎							○	○	○	○	○	○
国際コミュニケーション学域		◎							○	○	○	○	○	○
言語コミュニケーション学域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【注意事項】

- ・第1外国語、第2外国語をそれぞれ1つずつ選択してください。
 - ・「◎」は各学域が指定している外国語ですので必ず選択してください。その他は「○」がついている外国語のなかから選択してください。第1外国語と第2外国語について、同一の語種を選択することはできません。
- ※人間研究学域については、第1外国語もしくは第2外国語で、必ずドイツ語またはフランス語を選択しなければなりません。

外国人留学生

学 域	名 称	第1外国語	第2外国語						
		日 本 語	英 語	ドイツ語	フランス語	中 国 語	スペイン語	朝 鮮 語	イタリア語
人間研究学域		◎		○	○				
日本文学研究学域		◎	○	○	○	○	○	○	○
日本史研究学域		◎	○	○	○	○	○	○	○
東アジア研究学域		◎				○		○	
国際文化学域		◎	○	○	○	○	○	○	○
地域研究学域		◎	◎	△	△	△	△	△	△
国際コミュニケーション学域		◎	◎	△	△	△	△	△	△
言語コミュニケーション学域		◎	○	○	○	○	○	○	○

【注意事項】

- ・外国人留学生も第1外国語と第2外国語を履修する必要があります。
- ・第1外国語は必ず日本語を履修します。
- ・第2外国語のみ上記の表を参照し、選択してください。
- ・母語は選択できません。
- ・「◎」は各学域が指定している外国語ですので必ず選択してください。地域研究学域、国際コミュニケーション学域については、第2外国語において学域指定の「◎」の語種が母語の場合のみ、「△」のなかから選択してください。その他の学域は「○」がついている語種から第2外国語を選択してください。

○人間研究学域（2回生以降：哲学・倫理学専攻、教育人間学専攻）

第1外国語：英語、ドイツ語、フランス語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

※第1外国語もしくは第2外国語で、必ずドイツ語またはフランス語を選択しなければなりません。

人間研究学域ではドイツ語やフランス語の単語がキーワードとして用いられることが多々あります。文献研究をするうえでも、英語はもちろん、ドイツ語、フランス語の三ヶ国語がとても重要です。このことを念頭に置いて、自分の将来の研究テーマを考えてみたうえで外国語の選択を行ってください。

○日本文学研究学域（2回生以降：日本文学専攻、日本語情報学専攻）

第1外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

日本文学専攻、日本語情報学専攻のいずれの専攻においても、英語が重要であることはいうまでもありませんが、自己の関心のある分野と密接に関連する語種を選択し、履修することも必要です。例えば、森鷗外の文学に関心を持つ人はドイツ語を、大岡昇平の文学に関心を持つ人はフランス語を、古典文学に関心のある人は中国語や朝鮮語を第1外国語、第2外国語のいずれかで履修するのがよいでしょう。日本語学に関心のある人であれば、英語のほか、中国語、朝鮮語も重要性の高い語種ということができます。図書館情報学に関心のある人は、英語を第1外国語とした上で、ドイツ語かフランス語を第2外国語とするのがよいでしょう。なお公共図書館で図書館司書として働くことを目指す人は、スペイン語・中国語も第2外国語の選択肢として考えるとよいでしょう。

○日本史研究学域（2回生以降：日本史学専攻、考古学・文化遺産専攻）

第1外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

日本史学専攻に所属を希望する場合、中国語については漢文史学の講読・分析のために役立ちますので、履修することをお勧めします。日本史学に関わる研究書、研究論文を幅広く理解するためにも英語や中国語の学力が不可欠です。また、韓国との交流も盛んになっていますので、朝鮮語を履修することも望ましいです。考古学・文化遺産専攻に所属を希望する場合、英語を第1外国語、朝鮮語もしくは中国語を第2外国語とするのが一般的です。考古学を研究する場合、英語の重要性はいうまでもありませんが、日本考古学との関連で東アジアの考古学を勉強する際には、朝鮮語、中国語が必要となります。

○東アジア研究学域（2回生以降：中国文学・思想専攻、東洋史学専攻、現代東アジア言語・文化専攻）

第1外国語：中国語または朝鮮語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

東アジア研究学域では、学習する地域の言語を理解することが不可欠ですので、第1外国語は、中国語または朝鮮語を選択しなければなりません。中国文学・思想専攻または東洋史学専攻に所属したいと考えている皆さんは、第1外国語に中国語を選択してください。また、現代東アジア言語・文化専攻に所属することを希望する皆さんは、現在の自分の関心・問題意識に従って、第1外国語を決定してください。

○国際文化学域（2回生以降：英米文学専攻、ヨーロッパ・イスラーム史専攻、文化芸術専攻）

第1外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

国際文化学域では、様々な地域の文学・歴史・芸術について、2回生から専攻を決め、学習していくこととなりますが、どの専攻に進むことになったとしても、外国語の学習は極めて重要です。英米文学専攻を希望する場合は、第1外国語で英語を履修することを勧めます。ヨーロッパ・イスラーム史専攻ではヨーロッパ・イスラーム史の様々な領域（地域・時代・テーマ）を踏まえて、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語の中から選択して履修することが望ましいです。文化芸術専攻でも外国語を通して、日本語では得られないものの見方や考え方をマスターすることが重要で、各自の興味に応じ、語学力を深めることが重要です。

○地域研究学域（2回生以降：地理学専攻、地域観光学専攻）

第1外国語：英語

第2外国語：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

地域研究学域では、第1外国語が英語で、第2外国語は各自で選択でき、基本的にいずれを履修してもかまいません。地理学専攻・地域観光学専攻の研究対象地域は世界です。本学域では、研究成果を世界に発信することを目指していますので、英語を中心とした外国語の一定の習得は欠かせません。とくに本学大学院地理学・地域観光学専修（前期課程・後期課程）に進学を希望する学生は、英語を中心とした外国語の一定の習得は欠かせませんので、積極的に履修するようにしてください。

○国際コミュニケーション学域（2回生以降：英語圏文化専攻、国際英語専攻）

第1外国語：英語

第2外国語：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

国際コミュニケーション学域では、所属を希望する専攻に関わらず、高い英語力を身につけることを非常に重視しています。第2外国語については、みなさんの興味や進路に関するニーズに応じて適切な語種を選択してください。

○言語コミュニケーション学域（2回生以降：コミュニケーション表現専攻、言語学・日本語教育専攻）

第1外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

第2外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

コミュニケーション表現専攻では、人間の五感を通して実現される相互行為や表現メディアの実践や観察・分析が求められています。重要な学術文献を読むうえで英語を履修しておくことの利点は大きいですが、幅広く言語を学習することで新たな気づきを得ることもあるでしょうから、特に履修する外国語科目は定めません。また、言語学・日本語教育専攻では、重要な学術情報や研究が、日本語によってだけでなく、英語によって発信されることが多くあります。したがって、多様な言語を学びつつ、英語を第1もしくは第2外国語で履修することをおすすめします。

3 英語クラス分けテスト（オンライン）

文学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC®L&R IP テスト（オンライン））を実施します。

1回生担当の英語I～VIのクラスは受講生の習熟度別に編成されており、Advanced、High-Intermediate、Intermediate、Pre-Intermediateの4つのレベルに分けられます。新入生のみなさんが受験するこのテストのスコアは、これらのクラス分け（プレースメント）の判断基準としても用いられますので、定められた受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して、必ず受験するようにしてください。なお、自宅等に受験環境がない場合には、本学で受験できる機会も設けられています。

英語クラス分けテストは、現時点でのみなさんの英語習熟度をできるだけ正確に把握し、それぞれの習熟度に合ったクラスを受講してもらうために行われるものです。英語の技能を伸ばすには、習熟度に即したクラスを受講することが極めて重要になります。辞書等を使用してオンラインテストを不正に受験したり、受験時に手を抜いたりすると、レベルの合わないクラスに配属されてしまい、学習意欲の低下を招く恐れがあります。したがって、このテストには真摯かつ適正に取り組んでください。

なお、外国語科目で英語を選択していない場合でも、必ず本テストを受験してください。

以下のWebサイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



デザイン・アート学部

1 卒業するために必要な単位数

【デザイン・アート学科】

科目区分		卒業必要単位数
Design in Society (DiS)		12 単位
Design Studies (DS)		18 単位
Design Language (DL)	英語 (E)	8 単位
	技能群 (S)	56 単位以上
	知識群 (K)	
卒業研究		2 単位
教養科目		20 単位以上
Design Study Abroad		-
合計		124 単位以上

2 外国人留学生の科目履修

教養科目：外国人留学生のみが履修可能な「日本事情等に関する科目」を開講します。

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

本学部の英語教育は、デザイン・アートを学ぶみなさんが、自らの興味関心を国際的な文脈へつなげていく力を育てることを目指しています。

「Research」（調べる / 深める / 探究する）、「Authoring」（まとめる / 編集する / 構築する）、「Collaboration」（交流する / 議論する / 協働する）、「Output」（発信する / 表現する / 発表する）という4つのスキルと ICT・デジタル技術の活用能力の育成に重点を置いた PEER（Project Education in English for Ritsumeikan）を導入し、単なる語学習得ではなく、専門領域と連動した英語学修を展開します。授業では、機械翻訳や生成 AI などのデジタル技術を積極的に活用し、探究、ライティング、ビジュアル化、プレゼンテーション、ディスカッションを繰り返しながら、英語で「調べ、考え、つくり、伝える」力を身につけていきます。

カリキュラムは、1・2 回生で開講する「英語 P1～4」を中心に構成され、自身の興味関心に基づくテーマについて調べ、その成果を継続的に発信します。2 回生秋学期には学部全体で成果を共有する発表会を実施し、学びの大きな節目とします。3・4 回生では、ゼミや自身のプロジェクト実践活動において日常的に英語に触れ活用できる環境で、実践的な英語力をさらに高めていきます。また、オンデマンド型の Skill 系コンテンツにより、一人ひとりの進路や興味に応じた柔軟な学修が可能です。

みなさんの創造力を世界に広げるための英語の学びが、ここからはじまります。

4 入学前英語オンラインテストについて

デザイン・アート学部では入学前英語オンラインテストとして「TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）」を実施します。「Design Language (DL) 英語 (E)」科目はオンラインテストによるレベル別で開講予定ではないため、テスト結果によるクラス分けは行いませんが、自身の英語力把握のために必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 その他の事項について

デザイン・アート学部では、授業を受けるためにはご自身のノートパソコンが必携です。パソコンは各自で入学前に購入して頂き、入学直後のガイダンスから使用していきます。詳細は学部ホームページ（「Information」ページ）で2026年2月頃に案内を行います。また「新入生のためのスタートアップサイト」へも掲載予定です。

学部トップページ内の「Information」	https://www.ritsumei.ac.jp/da/information/	
新入生のためのスタートアップサイト	https://www.ritsumei.ac.jp/startup/	

1 卒業するために必要な単位数

学士（経済学）の学位を得る（卒業する）ためには、4年以上在学して、下表のとおり科目区分ごとに定められた必要単位数に従って履修し、単位を修得しなければなりません。

【国際専攻・経済専攻共通】

科目区分		卒業に必要な単位数	
教養科目		24 単位以上	
外国語科目	国際専攻	英語インテンシブコース	12 単位以上
		中国語インテンシブコース	
	経済専攻	英語コース	
		二言語コース	
専門科目	必修科目	①卒業研究、リクワイヤード経済学 I、リクワイヤード経済学 II の中から 4 単位以上	左記①②③の単位数を満たした上で 70 単位以上
	選択必修科目	②コア科目から 8 単位以上 (*1) ③基礎科目から 8 単位以上 (*2)	
	上記以外の専門科目		
卒業必要（要卒）単位数		124 単位以上	

* 上記科目区分の他に卒業必要（要卒）単位外科目区分として自由科目があります。

(*1) 「基礎ミクロ経済学」「基礎マクロ経済学」もしくは「社会経済学初級α」「社会経済学初級β」のどちらか一方の組み合わせで 8 単位以上。

(*2) 基礎科目は経済基礎科目、国際基礎科目、ユニット基礎科目の 3 つの科目区分から構成されます。経済専攻は経済基礎科目から 4 単位以上を含めて 8 単位以上、国際専攻は国際基礎科目から 4 単位以上を含めて 8 単位以上。

2 外国語科目の選択

1) 国際専攻

「外国語選択」の登録を行ってください。

登録期間内であっても、一度登録をすれば登録後の変更はできません。

国際専攻では、みなさんの外国語の運用能力を養成するために、次の 2 つのコースを開設します。

登録後に希望コースを変更することはできませんので、よく考えたうえで登録してください。

- ・英語インテンシブコース
- ・中国語インテンシブコース

* 外国人留学生も同様に上記の 2 つのコースからいずれかを選択してください。

(以下、外国人留学生とは「外国人留学生入学試験による入学者」を指します)。

* 推薦入学試験（指定校制）の中国語要件を満たして国際専攻に入学する方は、必ず中国語インテンシブコースを選択してください。

【英語インテンシブコース（英語のみ 12 単位）】

【中国語インテンシブコース（英語 2 単位と中国語 10 単位）】

セメスター	英 語
第 1 セメスター	6 単位
第 2 セメスター	6 単位

セメスター	英 語	中国語
第 1 セメスター	1 単位	4 単位
第 2 セメスター	1 単位	4 単位
第 3 セメスター	—	2 単位

2) 経済専攻

「外国語選択」の登録を行ってください。登録期間内であっても、一度登録をすれば登録後の変更はできません。

経済専攻では、みなさんの外国語の運用能力を養成するために、次の2つのコースを開設します。
登録後に希望コース・初修外国語を変更することはできませんので、よく考えたうえで登録してください。

- ・英語コース
- ・二言語コース（外国人留学生を除く）

- ① 「外国語選択」のコースの希望順位を登録してください。
- ② 「初修外国語」を第2希望まで選択してください（第2希望の言語になる場合があります）。

【英語コース（英語のみ12単位）】

セメスター	英 語
第1セメスター	5単位
第2セメスター	5単位
第3セメスター	1単位
第4セメスター	1単位

【二言語コース（英語6単位と初修外国語6単位）】

セメスター	英 語	初修外国語
第1セメスター	2単位	3単位
第2セメスター	2単位	3単位
第3セメスター	1単位	—
第4セメスター	1単位	—

(外国人留学生)

- ・二言語コースに所属します。
- ・「初修外国語」を第2希望まで選択してください（第2希望の言語になる場合があります）。

【二言語コース（日本語6単位と英語6単位）】

セメスター	日本語	英 語
第1セメスター	3単位	2単位
第2セメスター	3単位	2単位
第3セメスター	—	1単位
第4セメスター	—	1単位

【二言語コース（日本語6単位と初修外国語6単位）】

セメスター	日本語	初修外国語
第1セメスター	3単位	3単位
第2セメスター	3単位	3単位

〈初修外国語とは〉

経済学部では、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・英語（外国人留学生のみ選択可）を選択することができます。
※第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を初修外国語として選択することは推奨しません（判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センター（P.7参照）へご相談ください）。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判明した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。

※外国人留学生は第一言語（母語）を初修外国語として選択することはできません。

〈初修外国語既修者対応プログラム〉

大学入学前にドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語を学んでいた皆さんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は、「3 初修外国語既修者対応プログラムについて」（P.7）をよく読んで手続きしてください。

3 英語クラス分けテスト（オンライン）

経済学部では、入学前に英語クラス分けテスト（テスト種別：CASEC）を実施し、この受験結果に基づき、レベルに応じたクラス分けを行います。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下のWebサイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）

<https://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/online/>



4 その他の事項について

経済学部では、1回生履修指定科目の情報処理演習等、PCの利用を前提とする科目や、授業外学習・グループワークを必要とする科目があり、ノートPCを活用することでより効果的に学習を進めることができます。PCの購入を考えている場合は、経済学部ホームページ（2026年2月頃）と新入生のためのスタートアップサイト（2026年2月16日開設予定）にてPCスペックに関する告知がありますので、購入前に確認してください。

スポーツ健康科学部

1 卒業するために必要な単位数

【スポーツ健康科学科】

科目		必要単位		備考
基礎科目	教養科目	24 単位以上	32 単位以上	—
	外国語科目	8 単位		
専門科目	基盤科目	12 単位以上		—
	領域科目	42 単位以上		必修 4 単位 (卒業論文)、 選択必修 2 単位以上
	融合科目	4 単位以上		—
	プロフェッショナル・ キャリア形成科目	—		—
合計		124 単位以上		

詳しい履修方法やカリキュラムについては、入学後に配付される「学修要覧 (学部編)」を必ず確認してください。

2 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

スポーツ健康科学部では英語を専修とし、「プロジェクト発信型英語プログラム」を実施し、英語運用能力とコミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育てます。

プログラムは、関心のあるテーマについて英語で発表する「プロジェクト英語」と、発表に必要な英語運用能力を総合的に学び養成する「スキルワークショップ」から構成されます。「スキルワークショップ」については、入学前に英語クラス分けテストを行い、習熟度(レベル)に応じたクラス分けを行います。

留学生は英語か日本語どちらかを選択できます(英語科目から8単位、もしくは日本語科目から8単位の修得が必要)。どちらの語種を選択するかを、4月のオリエンテーション期間中にスポーツ健康科学部事務室まで申し出てください。

3 英語クラス分けテスト (オンライン)

スポーツ健康科学部では、入学前英語クラス分けテスト(テスト種別:CASEC)を実施します。

スポーツ健康科学部では、正課の英語カリキュラムとして、「プロジェクト発信型英語プログラム」を実施しています。このプログラムでは、新入生の皆さんが、自らの関心事についてリサーチを行い、英語で発信できるようになることを主眼にしています。皆さんはこのプログラムにおいて、英語で発信する方法を学ぶ「英語P」と、発信するための基礎となる英語の四技能「聞く・読む・話す・書く」を学ぶ「英語S」を受講します。今回のオンラインテストは、現時点での皆さんの英語力を把握するとともに、一回生時の英語Sのクラス分けの重要な資料となります。新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内 (新入生の英語クラス分けテストのページ)
<https://www.ritsumei.ac.jp/genko/online/>



4 その他の事項について

スポーツ健康科学部では、学習効果を高めるために各自がパソコンを所有することを推奨しています。また、キャンパス内では無線LANに接続できますので、新規にご購入を検討される場合は、持ち運びのしやすいノートパソコンを推奨します（キャンパス内にも学生が自由に利用できるパソコンは、500台程度整備されています）。

1 卒業するために必要な単位数

科目区分		卒業に必要な単位数				
教養科目		8 単位以上				
外国語科目	第 1 外国語科目	8 単位	14 単位			
	第 2 外国語科目	6 単位				
食 マ ネ ジ メ ン ト 専 門 科 目	基盤科目 I	8 単位以上 (必修 4 単位含む)	50 単位以上	124 単位以上		
	基盤科目 II	6 単位以上 (必修 2 単位含む)				
	マネジメント科目	8 単位以上				
	学際マネジメント科目	8 単位以上				
	カルチャー科目	8 単位以上				
	テクノロジー科目	8 単位以上				
	総合講義	2 単位以上	76 単位以上			
	基盤科目 III	専門外国語科目			6 単位以上	18 単位以上
		初等 PBL 科目				
		初等 WS 科目				
		初等演習科目				
専門 PBL 科目		6 単位以上				
専門 WS 科目						
専門演習科目						
卒業研究			4 単位 (必修)			
自由科目	全学副専攻科目	-				

* 詳しい履修方法やカリキュラムについては、入学後に配布される「学修要覧 (学部編)」を必ず確認してください。

2 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録を行ってください。登録後の変更はできません。

- ① 第 1 外国語は、外国人留学生以外は英語、外国人留学生は日本語です。
- ② 第 2 外国語は、以下の言語から第 3 希望まで選択し、登録してください。登録期間内であっても、一度登録をすれば登録後の変更はできません。希望をできるだけ尊重してクラスを編成します。

外国人留学生以外：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語

外国人留学生：ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、イタリア語、英語

- * 「3 初修外国語既修者対応プログラム」(P.7 参照) は開設しません。大学入学前に上記第 2 外国語の言語を学習した経験がある場合は、それ以外の言語を選択してください。
- * 第一言語 (母語またはそれに相当するレベル) を、初修外国語として選択することは推奨しません。判断に迷う場合は、あらかじめ言語教育センター (P. 7 参照) へご相談ください。入学後に選択した初修外国語が第一言語 (母語またはそれに相当するレベル) と判明した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。外国人留学生は第一言語 (母語) を初修外国語として選択することはできません。

3 英語クラス分けテスト（オンライン）

食マネジメント学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：CASEC）を実施します。
入学後の英語授業では習熟度別にクラスが異なります。本テストはそのクラスの所属が決まる重要なテストです。
新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



4 パソコン（PC）について

- ・食マネジメント学部では、授業など様々な場面でPCを使うため、各自ノートパソコンを購入することを推奨します。
- ・入学後に無償でMicrosoftのOffice製品（Word、Excel、PowerPoint）を大学から提供します。
- ・PCの性能（スペック）については特に基準は設けませんが、授業で用いる教材や指導は、Windows版の操作を基本にしていますので、Windowsを強く推奨します。ただし、MacのPCを購入することを妨げるものではありません。Macは特に画像や映像の編集に強く、研究内容によってはMacの方が利便性があがる場合があります。
- ・PCについての詳細は、下記食マネジメント学部ホームページで確認してください。
立命館大学食マネジメント学部 TOPICS&EVENTS <https://www.ritsumei.ac.jp/gast/info/detail/?id=798>

1 卒業するために必要な単位数

【各学科共通】

科目区分		卒業に必要な単位数
教養基礎科目	教養科目	
	外国語科目	必修外国語
		履修指定外国語 選択外国語
基礎専門科目		26単位
専門科目		68単位
合計		124単位

※ 詳細は、入学後に配布される「学修要覧（学部編）」を必ず確認してください。

2 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

（1）必修外国語

〈外国人留学生以外〉

1・2回生時に必修外国語科目として英語を8科目履修します。最先端の科学技術や高度な専門的知識を学ぶために、そして、科学技術のグローバル化が進むなかでリーダーシップを発揮するためにも、理工学部の学生にとって、英語の総合的・実践的運用能力を身につけることが欠かせません。

〈外国人留学生〉

1・2回生時に必修外国語科目として日本語を8科目以上選択履修します。日本語を母語としない外国人留学生が、日本語による講義を理解し、授業の中での議論に参加し、レポートを書くためにも、大学での学修に必要な高い日本語力を修得することが非常に重要です。

（2）履修指定外国語

3回生時に履修指定外国語科目（科学技術英語Ⅰ）として英語を開講しています。1・2回生で培った学術的な英語運用能力を維持・向上させるとともに、将来のキャリアや研究活動に活用できる英語運用能力を育成します。

（3）選択外国語

1回生時から「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」を選択科目として履修することができます。初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語）は、初めてその言語を学ぶ人のための科目です。また、3回生時には選択科目（科学技術英語Ⅱ）で英語も履修することができ、科学者や技術者がグローバルなビジネス場面や国際学会で活躍するために不可欠な、高度なコミュニケーション能力の向上を目的とします。

3 英語クラス分けテスト（オンライン）

理工学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC®L&R IP テスト（オンライン））を実施します。この受験結果に基づき、レベルに応じたクラス分けを行います。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/online/>



4 ノート PC 所有の推奨について

立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）には大学専用の無線ネットワーク環境（学内無線 LAN）が整備されており、教室以外の施設（実験室、研究室、メディアセンター、生協食堂、学生施設等）や屋外において無料でインターネットの利用が可能です。入学後はこの学内無線 LAN が利用できるとともに、立命館大学提供のサービス：office365（Word・Excel・PowerPoint、Outlook、OneNote、OneDrive など）も無償利用が可能です。また、講義で必要な有償ソフトウェアの多くについても入学後に大学ライセンスにて無償利用が可能です。ノート PC を携帯することにより、学内でレポート作成、予復習、メール処理、情報検索などを行うことができます。その他、学内にはマルチメディアルームと呼ばれる PC（デスクトップ型）が、自由に使用できる施設も整備されています。

学科によっては、幾つかの実験や演習などで、数名がグループとして一緒に作業を行うことがありますが、ノート PC にインストールした Zoom（無料版）などの WEB 会議ツールを使うと、授業時間以外に再び集まらなくてもオンライン上で予復習を行うことができます。

ノート PC を携帯することで、自習やグループ学習において、場所や時間に制限されることなく学習ができるようになります。また、スマートフォンと比べて、情報量が多く、視認性が高く、そして高度で効率的なデータ処理ができるようになります。是非とも入学者の皆さんには大学 4 年間の学習ツールとしてノート PC を所有されることを強く推奨いたします。入学後に大学生協でもノート PC を購入することができます。

立命館大学における情報環境（立命館統合情報システム RAINBOW）については、本学の WEB サイト（<https://it.support.ritsumeai.ac.jp/hc/ja>）をご覧ください。学科の教育展開により推奨されるノート PC の仕様が異なりますので下記をご参考ください。

数理科学科

推奨するノート PC の仕様はなし。

物理科学科

推奨するノート PC の仕様はなし。

電気電子工学科

以下の条件を満たすノート PC を推奨しています。

- ・ OS：Windows を強く推奨します。多くの授業で Windows 環境を前提としており、他の OS（macOS や Linux など）では一部のソフトウェアや授業内容に対応できない場合があります。
- ・ Web 授業対応：Wi-Fi 接続、カメラ、マイク、スピーカーが内蔵または外付けで使用可能なこと。
- ・ その他：メモリは 16 GB 以上、SSD 256 GB 以上を推奨します。

電子情報工学科

推奨するノート PC の仕様は以下の通りです。

項目	仕様	備考
OS の種別	マイクロソフト Windows11 推奨。	アップル Mac は推奨しない。
プロセッサ	Intel Core i5 相当以上推奨。	—
メモリ	8GB 必須、16GB 以上推奨。	
ストレージ	SSD 256GB 必須、512GB 以上推奨。	
画面サイズ	13 インチ以上推奨。	—
画面解像度	フル HD (1,920 × 1,080) 以上必須。	タッチパネルは必須でない。
USB 機能	USB Type-A 端子 (または変換コネクタ)	—
必要な機能	HDMI 端子 (または変換コネクタ)、無線 LAN。	—
その他	大学に持参できる程度の重量と大きさであること。	—

※ Office は大学から無償提供

機械工学科

推奨するノート PC の仕様は以下の通りです。

項目	仕様	備考
OS の種別	Windows11 以降のバージョンを推奨。	—
プロセッサ	Intel Core i5 と同等かそれ以上の性能推奨。	—
メモリ	8GB 必須、16GB 推奨。	—
ストレージ	HDD または SSD 500GB 以上推奨。	—
画面サイズ	—	—
画面解像度	—	—
USB 機能	—	—
必要な機能	無線 LAN (Wi-Fi)、Bluetooth、カメラ、マイク、スピーカー。	—
その他	—	—

ロボティクス学科

推奨するノート PC の仕様は以下の通りです。

項目	仕様	備考
OS の種別	Windows11 以降のバージョンとし、Windows11 を推奨。	多くの授業で Windows を想定。
プロセッサ	Intel Core i5 と同等かそれ以上の性能推奨。	—
メモリ	8GB 以上推奨。	—
ストレージ	256GB 以上推奨。	SSD 推奨。
画面サイズ	13 インチ以上推奨。	—
画面解像度	1,920 × 1,080 以上推奨。	—
USB 機能	—	—
必要な機能	無線 LAN (Wi-Fi)、カメラ、マイク、スピーカー。	—
その他	バッテリー駆動時間がカタログ値で 8 時間以上推奨。	BYOL 推奨のため。

環境都市工学科

推奨するノート PC の仕様はありませんが、Web 授業（Wi-Fi、カメラ、マイク、スピーカー）に対応しておくことを推奨します。また、授業によっては個人でインストールを推奨するソフトが紹介される場合もありますので、その都度検討してください。

建築都市デザイン学科

推奨するノート PC の仕様は以下の通りです。

項目	仕様	備考
OS の種別	Windows11 以降のバージョンを推奨。	MacOS 非対応ソフトウェア利用時 有。
プロセッサ	Intel core i5 相当必須、Intel core i7 相当以上推奨。	デザイン分野で積極的にパソコンを 活用する場合は Intel core i7 相当 以上が望ましい。
メモリ	8GB 必須、16GB 以上推奨。	デザイン分野で積極的にパソコンを 活用する場合は 16GB 以上が望ま しい。
ストレージ	SSD256GB 必須、SSD512GB 以上推奨。	デザイン分野で積極的にパソコンを 活用する場合は SSD512GB 以上が 望ましい。
画面サイズ	12 インチ以上推奨。	デザイン分野では画面が広い方がよ い。体力的に携帯可能で、携帯機会 が少なく・距離が短いのであれば 15 インチ以上が望ましい。
画面解像度	1,920 × 1,080 程度推奨。	—
USB 機能	USB3.0 推奨。	—
必要な機能	無線 LAN (Wi-Fi)、Bluetooth、カメラ、マイク。	Web 授業を受けるのに必要な機能 は備えておくことが望ましい。
その他	グラフィックボード (GPU)	デザイン分野で積極的にパソコンを 活用する場合はグラフィックボード がマザーボードとは別に搭載されて いることが望ましい。

※無償アプリケーションのインストールが必要な場合は個別に授業で指示をします。また、個別の方向性に応じて保有していることが望ましい有償アプリケーション、発展的な内容の契機になる有償アプリケーションは授業で案内します。

※プログラミング学習等において重大な支障が生じる場合があるため、Windows のユーザー名は半角英数のみを用いて作成することを強く推奨（全角やスペースを含まない）します。

生命科学部

1 卒業するために必要な単位数

【生命科学部各学科】

科目区分		必要単位	
基礎科目	外国語科目	8 単位	24 単位以上
	教養科目	—	
専門基礎科目		16 単位以上	
専門科目		84 単位以上	
合 計		124 単位以上	

2 外国人留学生の科目履修

教養科目：外国人留学生のみが履修可能な「日本事情等に関する科目」を開講します。

自由科目：外国人留学生のみが履修可能な「日本語科目」を開講します。

※自由科目は、卒業に必要な単位には含まれません。

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

科学技術は国際化が最も進んでいる分野であり、激しい国際競争が展開されています。特に生命科学の分野においてその傾向は顕著です。生命科学部では英語を専修とし、独自の「プロジェクト発信型英語プログラム」を実施します。プログラムは、みなさんの関心のあるテーマを英語で表現することから始める「プロジェクト」型授業と、英語の基礎訓練を行う「スキルワークショップ」型授業から構成されます。「スキルワークショップ」型授業については、オリエンテーション期間に英語クラス分けテストを行い、みなさんのレベルに応じたクラス分けを行います。

4 英語クラス分けテスト（オンライン）

生命科学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC®L&R IP テスト（オンライン））を実施します。このテストはリスニングとリーディングで構成されていますので、静かな環境で受験するか、ヘッドセットを使用するなど、音声がかちんと聞ける環境で受験してください。テスト時間は約 60 分です（Listening 約 25 分・Reading 37 分）。

このテストの結果により、英語 S1 のクラス編成を行います。

自分の入学前の英語力を測る重要な機会でもありますので、新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 その他の事項について

生命科学部では、学習効果を高めるために各自がパソコンを所有することを推奨しています。また、キャンパス内では無線 LAN に接続できますので、新規にご購入を検討される場合は、持ち運びのしやすいノートパソコンを推奨します。

また、実験科目において白衣および保護めがねの着用が必要です。入学後、オリエンテーション期間中に購入のご案内をします。

薬学部

1 卒業するために必要な単位数

【薬学科】

科目区分	必要単位
教養科目	16単位以上
外国語科目	8単位
基礎科目	必修科目2単位を含む12単位以上
専門科目	必修科目を含む170単位以上。ただし、アドバンスト科目から6単位以上、アドバンスト科目を除く選択科目から6単位以上修得すること。
自由科目	卒業に必要な単位には含まれません。
合計	206単位以上

【進級要件について】

薬学科には進級要件を課しています。詳細は学修要覧を確認してください。

【創薬科学科】

科目区分	必要単位
教養科目	16単位以上
外国語科目	8単位
基礎科目	9単位以上
専門科目	必修科目を含む95単位以上。ただし、選択必修科目から8単位以上修得すること。
自由科目	卒業に必要な単位には含まれません。
合計	128単位以上

【「卒業研究」受講要件について】

創薬科学科には「卒業研究」に受講要件を設けています。詳細は学修要覧を確認してください。

2 外国人留学生の科目履修

教養科目：外国人留学生のみが履修可能な「日本事情等に関する科目」を開講します。

自由科目：外国人留学生のみが履修可能な「日本語科目」を開講します。

※ 自由科目は、卒業に必要な単位には含まれません。

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

科学技術は国際化が最も進んでいる分野であり、激しい国際競争が展開されています。特に薬学の分野においてその傾向は顕著です。薬学部では英語を専修とし、独自の「プロジェクト発信型英語プログラム」を実施します。プログラムは、みなさんの関心のあるテーマを英語で表現することから始める「プロジェクト」型授業と、英語の基礎訓練を行う「スキルワークショップ」型授業から構成されます。「スキルワークショップ」型授業については、英語クラス分けテストを行い、みなさんのレベルに応じたクラス分けを行います。

4 英語クラス分けテスト（オンライン）

薬学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC® L&R IP テスト（オンライン））を実施します。このテストはリスニングとリーディングで構成されていますので、静かな環境で受験するか、ヘッドセットを使用するなど、音声がきちんと聞ける環境で受験してください。テスト時間は約 60 分です。（Listening 約 25 分・Reading 37 分）

このテストの結果により、英語 S1 のクラス編成を行います。

自分の入学前の英語力を測る重要な機会でもありますので、新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumeai.ac.jp/gengo/online/>



5 その他の事項について

① パソコン（PC）推奨について

薬学部では、学習効果を高めるために各自がパソコンを所有することを推奨しています。また、キャンパス内では無線 LAN に接続できますので、持ち運びのしやすいノートパソコンを推奨します。

② 白衣・保護めがねの購入について

実習科目において白衣および保護めがねの着用が必要です。入学後、オリエンテーション期間中に購入のご案内をします。

③ 実務実習前の抗体検査・ワクチン接種について（薬学科のみ）

薬学部薬学科では 5 回生時に病院・薬局における実務実習が必須となっています。その際、麻疹（はしか）、風疹（三日ばしか）、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）等の抗体検査、ワクチン接種が要請されています。

3 回生時に抗体検査を受け、結果に応じてワクチン接種を受ける必要があります。詳しくは 3 回生進級時にご案内します。

1 卒業するために必要な単位数

【経営学科】

科目分野		必要単位	備考
教養科目		24 単位以上	
外国語科目	英語コース	12 単位以上	※1 外国人留学生の場合、「2 言語コース」で選択できるパターンが日本人学生と異なります。「2 外国語科目の選択」をよく読んでください。
	2 言語コース		
専門科目		74 単位以上	※1 専門科目 74 単位のうち、自コース科目 6 科目 12 単位以上の修得が必要です。 ※2 総合基礎科目のうち 3 科目 6 単位以上の修得が必要です。 ※3 「卒業論文」または「ビジネスレポート」の修得が必要です。
自コース科目		12 単位以上	
合 計		124 単位以上	

- ①経営学科では、1 回生時における各自のコース選択にもとづき、3 回生からそれぞれ 4 つのコース（組織コース、戦略コース、マーケティングコース、会計・ファイナンスコース）に分かれて自コースの専門科目を中心に履修することとなります。
- ②3 回生終了時点で卒業に必要な単位数をすべて修得していても、4 回生以上において 4 単位以上修得しなければ卒業することはできません。

【国際経営学科】

科目分野		必要単位	備考
教養科目		20 単位以上	
外国語科目	英語コース	30 単位以上	※1 外国人留学生の場合、「2 言語初修重視コース」は選択できません。また、「2 言語英語重視コース」では「英語 + 日本語」のみ選択できます。「2 外国語科目の選択」をよく読んでください。 ※2 TOEIC®L&R テスト / TOEFL® テストのスコアにより履修科目に区別があります。
	2 言語英語重視コース		
	2 言語初修重視コース		
専門科目		68 単位以上	※1 専門科目 68 単位のうち、自学科科目 6 科目 12 単位以上の修得が必要です。 ※2 総合基礎科目のうち 3 科目 6 単位以上の修得が必要です。 ※3 「卒業論文」または「ビジネスレポート」の修得が必要です。
自学科科目		12 単位以上	
合 計		124 単位以上	

3 回生終了時点で卒業に必要な単位数をすべて修得していても、4 回生以上において 4 単位以上修得しなければ卒業することはできません。

2 外国語科目の選択

次頁を参照し、「外国語選択」の登録を行ってください。登録後に一切変更はできませんので、よく考えたうえで登録してください。

＜経営学科 外国語選択について＞

希望するコース・初修外国語の組み合わせを第3希望まで選択してください。

- (例) 第1希望：英語コース
 第2希望：2言語コース・英語＋中国語
 第3希望：2言語コース・英語＋朝鮮語

＜国際経営学科 外国語選択について＞

希望するコース・初修外国語の組み合わせを第3希望まで選択してください。

- (例) 第1希望：英語コース
 第2希望：2言語英語重視コース・ドイツ語
 第3希望：2言語英語重視コース・フランス語

経営学部では、みなさんの外国語の運用能力を養成するために、以下の外国語履修コースを開設します。

【経営学科】＊外国人留学生入試以外の合格者

コース	語種	必要単位数	備考
英語コース	英語のみ	12単位以上	
2言語コース	英語	6単位以上	
	初修外国語	6単位以上	

【経営学科外国人留学生】＊外国人留学生入試合格者

コース	語種	必要単位数	備考
英語コース	英語のみ	12単位以上	このコースを選択した場合、日本語科目は受講できません
2言語コース A	日本語	6単位以上	
	英語	6単位以上	
2言語コース B	日本語	6単位以上	
	初修外国語	6単位以上	母語は履修できません※1

【国際経営学科】＊外国人留学生入試以外の合格者※2

コース	語種	必要単位数	備考
英語コース	英語のみ	30単位以上	
2言語英語重視コース	英語	24単位以上	
	初修外国語	6単位以上	
2言語初修重視コース	英語	12単位以上	
	初修外国語	18単位以上	

※2 初修外国語既修者対応プログラムを希望する学生は2言語初修重視コースを選択してください。

【国際経営学科】＊外国人留学生入試合格者

コース	語種	必要単位数	備考
英語コース	英語のみ	30単位以上	このコースを選択した場合、日本語科目は受講できません
2言語英語重視コース	英語	24単位以上	
	日本語	6単位以上	
2言語初修重視コース	留学生は履修不可		

＜初修外国語とは＞

英語以外の外国語科目のことを指します。

経営学部では、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語を選択することができます。

第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません。判断に迷う場合は、選択前に言語教育センター（P.7参照）へご相談ください。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判断した場合は、違う言語への変更を推奨することがあります。外国人留学生は、第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を履修することは認められません。

＜初修外国語既修者対応プログラム＞

大学入学前にドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語を学んでいた皆さんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は、「初修外国語既修者対応プログラムについて」（P.7）をよく読んで手続きしてください。

初修外国語既修者対応プログラムを希望する場合は、インターネット入学手続き（Ritsu-Mate）での履修外国語選択で、受講を希望する言語を第1希望として必ず選択してください。

※第1希望で選択していない場合は、既修者対応プログラムは受講できません。

◎コース別受講単位数

学科	コース	語種	1回生		2回生		3回生以上	合計
			春学期	秋学期	春学期	秋学期		
経営学科	英語コース	英語	4	4	2	2	—	12
	2言語コース	英語	2	2	1	1	—	6
		初修外国語	3	3	—	—	—	6
	2言語コースA (外国人留学生)	日本語	3	3	—	—	—	6
		英語	2	2	1	1	—	6
	2言語コースB (外国人留学生)	日本語	3	3	—	—	—	6
初修外国語		3	3	—	—	—	6	
国際経営学科	英語コース	英語	6	6	16(8)※		2(10)※	30
	2言語英語重視コース	英語	6	6	10(8)※		2(4)※	24
		初修外国語	3	3	—	—	—	6
	2言語英語重視コース (外国人留学生)	英語	6	6	10(8)※		2(4)※	24
		日本語	3	3	—	—	—	6
	2言語初修重視コース	英語	6	6	—	—	—	12
初修外国語		3	3	6	6	—	18	

※国際経営学科生は、1回生終了時までにはTOEIC®L&R IPテスト550点以上、またはTOEFL ITP®テスト480点以上を取得できなかった場合に（ ）内の受講単位数となります。

3 経営学部の外国語カリキュラムについて

経営学部では、ビジネス社会で必要とされる国際的コミュニケーション能力を有するグローバルな人材の養成を目標とした、外国語カリキュラムを展開しています。経営学科は、英語コース、2言語コースを、国際経営学科では英語コース、2言語英語重視コース、2言語初修重視コースを入学時に選択して自らの希望にそった形で外国語学習を進めます。

1) 経営学部の英語教育の特徴

①国際社会で活躍できる人材を育てる教育

経営学科、国際経営学科ともに、1回生の必修科目ではEGP(English for General Purposes、一般目的の英語)に焦点をあて、スキル重視のカリキュラムで英語力の基礎固めをすると同時に、世界に向けて視野を広げ、国際人としての教養を培うための英語教育を行います。その基盤の上で、2回生からESP(English for Specific Purposes、特定目的の英語)やEAP(English For Academic Purposes、学術目的の英語)を導入して学部専門科目へと繋ぎ、「実用」と「教養」と「専門」のバランスが取れた英語教育を実施しています。

②多様な学生のニーズに応え、学ぶ意欲を喚起する教育

2回生以上を対象に「選択英語」として特色あるcontent-basedな科目群を設け、自らの意思で選べるようにしています。また、「資格英語演習」(経営学科英語コース)や「留学英語演習」(国際経営学科)等の科目を必修英語に設け、将来の就職や留学に向けて、TOEIC®L&RテストやTOEFL®テストの受験準備を視野に入れながら英語の基礎力の強化をめざします。

③4年間の継続学習の保証

一定の英語力の基準(TOEIC®L&Rテスト550点/TOEFL®テスト480点)に達している人が履修できる「選択英語」や「プロジェクト英語」(国際経営学科)等の科目を設けることにより、専門性の高い英語を習得する機会を上回生に提供するとともに、英語による専門科目への橋渡しを行い、4年間、英語学習が継続できるように配慮しています。

2) 経営学部の初修外国語教育の特徴

経営学部では、英語以外に初修外国語としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択できます。初修外国語は英語教育と同様に、国際的な教養と視野を持つ人材の育成をめざしながら、学生の意欲に応じて入門・初級レベルをじっくり学び始めるクラスから実践的な中・上級レベルをめざすクラスまで多様な授業が設定されています。それぞれリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの各能力をバランスよく学びながら、各言語の背景にある文化や社会にも関心を広げていきます。各種検定試験のほか学部や全学の長・短期留学にも連携するように配慮されています。

3) コースの概要

【経営学科・英語コース】

1 回生では、各学期「英語 R」(リーディング)、「英語 SW」(スピーキング & ライティング)、「英語 CALL」(CALL 教室を使ったマルチメディア・e-learning)、「資格英語演習 A」(TOEIC® L&R テスト教材を用いた英語演習)の4科目を受講します。2 回生では、各学期「Business English A」(リーディング中心のビジネス英語)、「Business English B」(スピーキングとライティング中心のビジネス英語)の2科目を学びます。また、TOEIC® L&R テスト 550 点/TOEFL® テスト 480 点のスコア基準を満たせば、多彩な科目からなる「選択英語」を任意で受講できます。

【経営学科・2 言語コース】

<英語>

1 回生では、各学期「英語 R」(リーディング)、「英語 SW」(スピーキング & ライティング)の2科目を学び、2 回生では各学期「Business English A」(リーディング中心のビジネス英語)の1科目を履修します。2 言語コースであるため、英語の履修科目数は英語コースの半分になりますが、TOEIC® L&R テスト 550 点/TOEFL® テスト 480 点のスコア基準を満たせば、2 回生以降に選択英語科目を任意で受講することが可能です。

<初修外国語>

授業は日本語母語教員とネイティブ・スピーカー教員との連携のもとに行われます。第1学期では基本的な文法事項を学習しながら、発話行為に重点を置き、日常的な様々な場面でのコミュニケーション能力を身につけます。第2学期では、さらに様々な場面を想定したパートナー練習やロールプレイなども取り入れ、より高度なリスニング能力や会話力を養成していきます。希望者は2回生以降も全学副専攻(外国語コミュニケーションコース)として選択初修外国語科目を受講することができ、中級上級レベルの初修語を継続して学べます。

<日本語> ※ 外国人留学生のみ

大学での学修に必要とされる高い日本語力を身に付けられるよう、1 回生時に「日本語Ⅶ(文章表現)」、「日本語Ⅶ(読解)」、「日本語Ⅶ(聴解口頭)」の科目を受講します。希望者は2回生以降も日本語の科目を受講することができます。

【国際経営学科・英語コース】

1 回生では、各学期「英語 R」(リーディング)、「英語 L」(リスニング)、「英語 S」(スピーキング)、「英語 W」(ライティング)、「英語 CALL」(CALL 教室を使ったマルチメディア・e-learning)、「留学英語演習」(TOEFL® テスト教材を用いた英語演習)の6科目を履修します。2 回生以降にも英語を集中的に学びます。TOEIC® L&R テスト 550 点/TOEFL® テスト 480 点のスコア基準を満たしているかどうかで、履修パターンが4種類に分かれます。

【国際経営学科・2 言語英語重視コース】

<英語>

1 回生では、各学期「英語 R」(リーディング)、「英語 L」(リスニング)、「英語 S」(スピーキング)、「英語 W」(ライティング)、「英語 CALL」(CALL 教室を使ったマルチメディア・e-learning)、「留学英語演習」(TOEFL® テスト教材を用いた英語演習)の6科目を履修します。2 回生以降、TOEIC® L&R テスト 550 点/TOEFL® テスト 480 点のスコア基準を満たしているかどうかで、履修パターンが4種類に分かれます。

<初修外国語>

授業は日本語母語教員とネイティブ・スピーカー教員との連携のもとに行われます。第1学期では基本的な文法事項を学習しながら、発話行為に重点を置き、日常的な様々な場面でのコミュニケーション能力を身につけます。第2学期では、さらに様々な場面を想定したパートナー練習やロールプレイなども取り入れ、より高度なリスニング能力や会話力を養成していきます。希望者は2回生以降も選択初修外国語科目を受講することができます。

<日本語> ※ 外国人留学生のみ

大学での学修に必要とされる高い日本語力を身に付けられるよう、1 回生時に「日本語Ⅶ(文章表現)」、「日本語Ⅶ(読解)」、「日本語Ⅶ(聴解口頭)」の科目を受講します。希望者は2回生以降も日本語の科目を受講することができます。

【国際経営学科・2 言語初修重視コース】

<英語>

1 回生では、各学期「英語 R」(リーディング)、「英語 L」(リスニング)、「英語 S」(スピーキング)、「英語 W」(ライティング)、「英語 CALL」(CALL 教室を使ったマルチメディア・e-learning)、「留学英語演習」(TOEFL® テスト教材を用いた英語演習)の6科目を履修します。

希望者は TOEIC® L&R テスト 550 点/TOEFL® テスト 480 点のスコア基準を満たせば、2 回生以降選択英語科目を受講することができます。

<初修外国語>

授業は日本語母語教員とネイティブ・スピーカー教員との連携のもとに行われます。第1学期では基本的な文法事項を学習しながら、発話行為に重点を置き、日常的な様々な場面でのコミュニケーション能力を身につけます。第2学期では、さらに様々な場面を想定したパートナー練習やロールプレイなども取り入れ、より高度なリスニング能力や会話力を養成していきます。2 回生以降は選択初修外国語科目を12 単位以上修得が必要です。

4 英語クラス分けテスト（オンライン）

経営学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC® L&R IP テスト（オンライン））を実施します。このテストの結果により、レベルに応じたクラス分けを行います。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 「会計キャリアプログラム」について

①プログラム概要

経営学部では、日本商工会議所簿記検定（日商簿記）3級、2級の取得を目指すための正課科目として、「簿記入門Ⅰ」、「簿記入門Ⅱ」という科目を開設しています。また、将来公認会計士や税理士、国税専門官や企業会計のプロフェッショナルなど、多様なキャリアの選択ができるように、日商簿記1級の取得を目指した「会計キャリアプログラム」を開設し、継続的な学習も支援しています。

高校生時に2級レベルの知識を修得し、新1回生から、この日商簿記1級合格を目指すための「会計キャリアプログラム」の受講を希望する場合、事前の申込が必要となります。

プログラム科目の詳細は、下記 Web ページで案内しています。内容を確認の上、受講を希望する場合は以下の手続きを行ってください。

〈会計キャリアプログラムの Web ページ〉

https://www.ritsumei.ac.jp/ba/education/feature/feature_2.html/

②受講申請手続

インターネット入学手続の「経営学部会計キャリアプログラム受講申請」で1回生から受講希望する方は「希望する」を、希望しない方は「希望しない」を必ず登録してください。

③注意事項

- 1) このプログラム科目は、高校時代に日商簿記検定2級レベルの知識を修得している方を受講対象としています。
- 2) 1回生時に日商簿記検定3級および2級合格を目指す「簿記入門Ⅰ」「簿記入門Ⅱ」を受講・知識の修得により、2回生時以降に改めてプログラム科目を受講することができます。
- 3) 本プログラムを誤って登録した場合、手続き完了後に登録内容を変更することはできません。ただし、入学後の受講登録の際に「会計キャリアプログラム」科目を受講登録しないことが可能ですので、辞退等の手続きは不要です。また、そのことによる不利益等はありません。

6 学習用ノートパソコンについて

経営学部における学びにおいて、講義科目における情報収集やレポート執筆、基礎演習・ゼミ・外国語などの小集団授業におけるグループワークやレポート・論文の執筆など、パソコンを活用する授業が多くあります。Webを通じた課題実施や授業参加を要するなど、自身が自由に活用可能なパソコンをより必要とする状況です。経済的な負担とはなりますが可能な限り準備を進めてください。

以下の Web ページに、推奨のスペックをまとめております。パソコンを購入する前にご確認ください。

新入生のためのスタートアップサイト（2月16日開設予定）

<https://www.ritsumei.ac.jp/startup/>



*適宜、店頭等で、上記リンクの推奨スペックを見せつつ詳細を確認してください。

*推奨スペックは、マイクロソフト・オフィスを活用するための最小限のものです。スペックを高めると、処理速度などの快適さを得ることができますが、価格が上がります。

*その他、重さ、ディスプレイの大きさなどを、持ち運びなどの利便性も考慮ポイントです。

政策科学部

1 卒業するために必要な単位数

【政策科学科】

科目区分		必要単位		
政策科学科目 Policy-Learning Courses (PLC)		68 単位以上 ※ただし、学士論文は必修	各科目区分の必要単位数を取得した上で合計124 単位以上 ※ただし、EPS 科目で8 単位以上	
学術俯瞰科目 Meta-Learning Courses (MLC)	ヴィジョン科目 Vision Broadening (VB)	8 単位以上		44 単位以上
	情報技法科目 Information and Methods (IM)	8 単位以上		
	グローバル言語科目 Languages for Global Actions (LGA)	8 単位以上		
	政策科学基礎科目 Meta-policy (MP)	10 単位以上		
R + 科目				

2 外国人留学生の科目履修

外国人留学生の卒業要件に関わる科目履修については、上記表と同じです。

日本語科目を履修する場合は、12 単位を上限に R + 科目として卒業に必要な 124 単位に含めることができます。履修を希望する場合は、入学後に配布する「履修・登録の手引き」を参照し、必要な手続きを行ってください。

3 英語：政策科学英語科目「EPS (English for Policy Science)」の選択について

EPS は、「英語を学ぶ」科目ではなく、政策科学にかかわる様々なトピックや研究方法を「英語で学ぶ」政策科学部独自の科目です。政策科学にかかわる専門的な知識を英語で学ぶことで、外国語学習と専門教育の融合を図っています。

1 回生で受講する EPS 科目は、インターネット入学手続「政策科学部 EPS 科目選択」で選択した科目を登録します。

以下の「1) EPS : English for Policy Science について」や、「2) 1 回生配当 EPS 科目 科目概要」等を読み、1 回生で受講を希望する EPS 科目（春学期 1 科目、秋学期 1 科目）をそれぞれ第 1 希望から第 3 希望まで必ず登録してください。

1) EPS : English for Policy Science について

EPS 科目は、Type A、B、C の3つに分類されます。分類の基準は①学習素材 (Input) の言語、②授業内アクティビティ (Activities) の言語、③成績評価対象物 (試験答案、レポート等の成果物) (Output) の言語が、それぞれ英語なのか日本語なのかによります。英語での Communication 能力を伸ばしたければ TypeA、Reading 能力を伸ばしたければ TypeB、Writing と Presentation 能力を伸ばしたければ TypeC を選んでください。

Type	① 学習素材 (Input)	② 授業内 アクティビティ (Activities)	③ 成績評価 対象物 (Output)	授業内容
A	英語	英語	英語	<授業の使用言語がすべて英語> 教養的な内容を含む科目、専門基礎的な科目、専門科目など内容は多岐にわたります。授業はすべて英語で行いますが、受講にあたり必要な英語試験のスコアなどはありません。英語に苦手意識のある方も、チャレンジしたい気持ちがあれば受講することができます。
B	英語	日本語 もしくは 英語	日本語 もしくは 英語	<英語文献・専門書の講読> 入門レベルから高度に専門的なものまで含めて、政策科学の学習に必要な基本概念、理論、争点を概説する英語文献を講読する授業を行います。また、授業によってはアカデミックな英語のリスニングを行います。
C	日本語 もしくは 英語	日本語 もしくは 英語	英語	<PBL 型の英語学習> 学習の成果物が社会貢献に結びつくような PBL 型 (問題解決型学習) の授業を行います。外国人にとってわかりにくい日本の文化や社会を英語で説明する科目や、アカデミック・ライティングを学ぶ科目などがあります。

2) 1 回生担当 EPS 科目 科目概要

科目の詳細はシラバス※から確認してください。

※シラバスとは、それぞれの科目の「授業の概要」や「受講生の到達目標」、「成績評価方法」等を示す資料のことです。「立命館大学 オンラインシラバス」で検索し、「学外向け」ページから確認することができます。

シラバス掲載 URL : <https://www.ritsumeit.ac.jp/pathways-future/syllabus/>

Type A	授業はすべて英語で行われる。特に留学を希望している学生にとっては、留学に必要なアカデミックな英語力を総合的に高めることができる。また留学生とともに英語で学ぶ本学部 CRPS 専攻開講科目を受講する準備にもなる。				
1	春学期	Contemporary Issues in Policy Science I (EPS-A) <現代の政策課題 I>	5	秋学期	Contemporary Issues in Policy Science II (EPS-A) <現代の政策課題 II>
Foster an understanding of contemporary local and global issues; basic understanding of political theories and philosophies; pros and cons of issues; how to support arguments; build logical arguments; discussion; debate.			Build on fostering an understanding of contemporary local and global issues; fundamental understanding of main political theories and philosophies; how to analyze in regard to political theory and philosophy. How to support an argument; analyze information; build logical arguments; discussion; debate.		
2	春学期	Academic Workshop (EPS-A) <アカデミックワークショップ>	6	秋学期	Research Workshop (EPS-A) <リサーチワークショップ>
Learn key vocabulary and theoretical concepts related to policy science. Learn the basics of academic paper writing and research in the social sciences. How to read academic works effectively. Write academic papers of approximately 900 or more words.			Learn the basics of research proposal and paper writing. Introduction to types of research methodologies; do pilot study with either survey or interviews. How to work together effectively in research groups. Write academic papers of approximately 1200 or more words.		

Type B	社会科学の入門レベルの学習から専門的な学術論文、政府の公文書、報道記事など、学生の受講目的に応じた科目・クラスを開講する。専門用語・概念を翻訳語を通じてのみならず、言語や語源にまで視野を広げて学ぶカテゴリー。		
3	春学期	Introduction to Social Sciences I (EPS-B) 〈社会科学入門講読Ⅰ〉	7 秋学期 Introduction to Social Sciences II (EPS-B) 〈社会科学入門講読Ⅱ〉
政策科学の専門的な研究のベースとなる社会科学の基礎的な知識を英語で学ぶ科目である。専門的な知識を学ぶことと並行して、アカデミック英語の基礎的な特徴や社会科学的思想法の基礎を学ぶことを目標とする。		Iと同様、政策科学の専門的な研究のベースとなる社会科学の基礎的な知識を英語で学ぶ科目である。専門的な知識を学ぶことと並行して、アカデミック英語の特徴や社会科学的思想法を学ぶことを目標とする。Iよりやや発展した授業内容を想定する。	

Type C	“Learn to Contribute”の理念の下で、外国人にとってわかりにくい日本の文化や社会を英語で説明するDecoding Japanを原型とするプロジェクト型の英語学習カテゴリー。(英語版のProject-Based Learning)。学習の成果物として英語で利用可能なマテリアルの作成を義務づける。主に英語で「書く」ことに焦点を据えるが、プロジェクトの内容によっては英語によるインタビュー等の活動が必須とされる。成果物の社会的活用を目標とする。		
4	春学期	EPS Project I (EPS-C) 〈政策英語プロジェクト演習Ⅰ〉	8 秋学期 EPS Project II (EPS-C) 〈政策英語プロジェクト演習Ⅱ〉
上述の“Learn to Contribute”の理念をもっともよく表すプロジェクト。プロジェクトの中心をなすのはDecoding Japanであり、例としては以下のものが挙げられるが、他にも様々なトピックを展開できる。このプロジェクトでは成果の公開を目標とする。		EPS Project Iよりも増強された政策科学の知識および英語力を用いて、より完成度の高い成果を求める。	
“My Sweet Hometown”出身地について調査し、英語化されていない情報を英語で紹介する。		9 秋学期 EPS Project III (EPS-C) 〈政策英語プロジェクト演習Ⅲ〉	
“Decoding Osaka”特に新キャンパス内や周辺の有用な情報を留学生、観光客、在日外国人のために英語化する。		プロジェクト入門(1回生ゼミ)の年度末研究成果報告書(全員提出)に添付する英語アブストラクト執筆のための技法を学ぶ。資料の調査(方法)と読解、モデルサンプルの検討、専門用語の検討、などを通して、各自が自分の研究について英語でタイトルとアブストラクトを執筆する。また可能な場合は、成果報告書全体を英語で執筆するための指導を行う。	
“Unrolling History”日本の地方自治体の歴史、企業の社史、あるいは立命館大学政策科学部の歴史などを調査し、英語化する。			

3) インターネット入学手続「政策科学部 EPS 科目選択」について (必須)

◎『政策科学部 EPS 科目選択』の登録方法

1回生で選択できる科目は以下のとおりです。以下の科目から、春学期1科目、秋学期1科目受講することができます。それぞれ、第1希望から第3希望まで選択し、登録をしてください。入学後、定員に空きのある科目は追加募集され、3科目受講できる場合があります。

※いかなる理由でも登録後の変更はできません。十分考えたうえで科目を選択してください。

春学期科目

No.	科目名	Type	クラス数(予定)
1	Contemporary Issues in Policy Science I (EPS-A)	A	2
2	Academic Workshop (EPS-A)	A	1
3	Introduction to Social Sciences I (EPS-B)	B	4
4	EPS Project I (EPS-C)	C	11

秋学期科目

No.	科目名	Type	クラス数(予定)
5	Contemporary Issues in Policy Science II (EPS-A)	A	2
6	Research Workshop (EPS-A)	A	1
7	Introduction to Social Sciences II (EPS-B)	B	4
8	EPS Project II (EPS-C)	C	10
9	EPS Project III (EPS-C)	C	1

4 初修外国語：グローバル言語科目「LGA (Languages for Global Actions)」の履修について

LGA は、一般に第二外国語科目あるいは初修外国語科目と呼ばれる、英語以外の外国語を学ぶ科目です。LGA 科目については、入学時に語種を選択する必要はありません。1 回生秋学期に開講される「LGA 入門」を受講後、次の 10 語種から 1 語種を選択して、2 回生時に「基礎 1、2」「展開 1、2」を履修します。3 回生時には各語種に選択科目が開講されます。

French (フランス語)、German (ドイツ語)、Italian (イタリア語)、Russian (ロシア語)、Spanish (スペイン語)、Chinese(中国語)、Indonesian(インドネシア語)、Korean(朝鮮語)、Vietnamese(ベトナム語)、Thai(タイ語)

- * 希望者数によっては、第 1 希望の語種を履修できない場合があります。
- * 第一言語（母語またはそれに相当するレベル）を、初修外国語として選択することは推奨しません。判断に迷う場合は、選択前に言語教育センター（P.7 参照）へご相談ください。入学後に選択した初修外国語が第一言語（母語またはそれに相当するレベル）と判断した場合は、違う言語に変更を推奨することがあります。

〈初修外国語既修者対応プログラム〉

大学入学前にドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語を学んでいた皆さんのために一段高いレベルから受講できる「初修外国語既修者対応プログラム」を開設しています。詳細は、「初修外国語既修者対応プログラムについて」（P.7）をよく読んで手続きしてください。なお、初修外国語既修者対応プログラムの学生は 1 回生時から初修外国語の履修をすることとなります。

5 入学前英語オンラインテストについて

政策科学部では、入学前英語オンラインテストとして「TOEIC®L&R IP テスト（オンライン）」を実施します。EPS 科目はレベル別で実施していないため、テスト結果によるクラス分けは行いませんが、自身の英語力把握のために必ず受験してください。早めに受験すると、EPS 科目を選択する際の参考情報にもなります。テスト結果を参照し、伸ばしたい能力などに応じて科目を選択すると良いでしょう。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



6 パソコンについて

以下の Web サイトに「新入生のためのノートパソコン購入ガイド」を掲載しておりますので、ご参照ください。

新入生のためのスタートアップサイト（2月16日開設予定）

<https://www.ritsumei.ac.jp/startup/>

総合心理学部

1 卒業するために必要な単位数

【総合心理学科】

科目区分		必要単位数		
基礎科目	外国語科目	① 8 単位以上		
	教養科目	② 16 単位以上		
専門科目	総合心理学基礎科目	③ 14 単位以上		
	総合心理学専門科目	認知・行動	④ 56 単位以上	124 単位以上
		発達・キャリア		
		社会・文化		
		ヒューマンデータサイエンス		
		実践		
	特殊講義			
卒業研究	⑦ 4 単位以上			

2 外国人留学生の科目履修

外国人留学生の履修科目は、上記の表（外国語科目区分は英語科目とする。）に加え、次の日本語科目を必ず履修します。

科目名称	単位
日本語Ⅶ（文章表現 a）	1 単位
日本語Ⅶ（読解 a）	1 単位
日本語Ⅶ（聴解口頭 a）	1 単位
日本語Ⅶ（文章表現 b）	1 単位
日本語Ⅶ（読解 b）	1 単位
日本語Ⅶ（聴解口頭 b）	1 単位

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

総合心理学部での外国語科目は英語を専修とします。英語教育では、「プロジェクト発信型英語プログラム」を実施して、英語運用能力とコミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育てます。

このプログラムは、みなさんが関心を持っているテーマについて英語で発信する「プロジェクト」型授業と、英語で発信するために必要となる英語運用能力を総合的に学び、向上させる「スキルワークショップ」型授業から構成されます。

4 英語クラス分けテスト（オンライン）

総合心理学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：GTEC Academic）を実施します。

1 回生担当の英語 S のクラスは習熟度別に編成されています。新入生のみなさんが受験したこのテストのスコアは、英語 S のクラス分けの判断基準として用いられます。

英語の技能を伸ばすには各自のレベルに見合ったクラスを履修することが重要となりますので、新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 その他の事項について

総合心理学部では、英語教育をはじめとした多くの科目でパソコンを活用した授業を行いますので、みなさんが授業で学習した効果を高めるためにも、各自がノートパソコンを所有することを推奨しています。

特に、英語や基礎演習の授業では、インターネットを使った文献検索やプレゼンテーションの発表など、ノートパソコンを活用した授業を実施しますので授業が始まるまでに準備できることが望ましいです。

大阪いばらきキャンパスは、あらゆる場所が学びの場となるように設計されておりますので、ノートパソコンを携帯することで、それらの施設をより活用することができます。キャンパス内はどこでも無線 LAN に接続できる環境が整っています。

『総合心理学部新入生のためのノートパソコン購入ガイド』を、「新入生のためのスタートアップサイト」、「学部ホームページ」へ掲載しておりますのでぜひご参照ください。

新入生のためのスタートアップサイト（2月16日開設予定）

<https://www.ritsumei.ac.jp/startup/>



1 卒業するために必要な単位

【グローバル教養学科】

大学	科目区分	卒業に必要な単位数			「卒業に必要な単位数」に算入される最大の単位数
立命館大学 グローバル教養学部 (GLA)	Foundation Courses	124 単位	64 単位	12 単位	上限なし
	Introductory Courses			8 単位	
	Special Lectures			0 単位	
	Intermediate Courses			6 単位	
	Advanced Courses			4 単位 (うち必修科目2クラス以上)	
	Japanese Language Courses			0 単位	
	Others			0 単位	
オーストラリア国立大学 (ANU) / 他大学	ANU/ 他大学からの単位認定		0 単位	60 単位	

* 詳細については入学後に配布される Academic Handbook 等を必ず参照してください。

* デュアル・ディグリー・プログラムによるオーストラリア国立大学の学位取得要件については、ANU に確認してください。

2 外国語の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

グローバル教養学部は、すべての科目を英語で学ぶ All English のカリキュラムです。多様な国際的背景を持つ教員および学生とともに行う濃密なアカデミック・コミュニケーションを通じて、多文化的な環境において英語で実務を遂行する力が鍛え上げられます。またアカデミック・ライティング、リサーチスキル、クリティカル・シンキングなど、グローバル教養学のベースにおかれている学びのコンテンツは、表層的な英語力にとどまらない、豊かな言語運用力を育みます。

映像学部

1 卒業するために必要な単位数

【映像学科】

分野	必要単位	区分	備考
基礎科目	28 単位以上	教養教育科目	20 単位以上
		外国語科目	英語 8 単位 ※ 外国人留学生は日本語 8 単位
専門基礎科目	22 単位以上	基礎演習	
		講義科目	
		演習・実習科目	
専門科目	54 単位以上	講義科目	
		キャリア形成科目	
		外国語専門科目	
		演習・実習科目	「卒業研究」(4 単位) を含む 16 単位以上
合計	124 単位以上		

2 外国人留学生の科目履修

上表を参照してください。外国人留学生が外国語科目（英語）を履修する場合は、共通選択科目として卒業に必要な単位に算入します。

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

映像学部の外国語教育は、世界の映像制作の現場で共通言語となっている英語を専修とし、コミュニケーション能力を重点とした少人数の授業を行います。そのため、入学前に英語クラス分けテストを行い、みなさんのレベルに応じたクラス分けを行います。

4 英語クラス分けテスト（オンライン）

映像学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：GTEC Academic）を実施します。

映像学部では、1 回生の英語科目「Oral Communication I・II」と「Basic English I・II」、2 回生の英語科目「Discussion I・II」と「Media English I・II」が必修科目に設定されており、これらの単位を修得しなければ卒業することができません（外国人留学生を除く）。各英語必修科目のクラスは、受講生の習熟度に応じたグレード制によるクラス設定を行っており、入学前英語クラス分けテストのスコアは、1 回生の英語科目クラス分けの判定材料として活用します。

新入生のみなさんは受験期間内に自宅や高校等のパソコンを利用して必ず受験してください。

以下の Web サイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 その他

映像学部では、BYOD（BRING YOUR OWN DEVICE）を導入するため、ご自身のノートパソコンやタブレットなどのデバイスが必要になります。

1 卒業するために必要な単位数

【情報理工学科】

科目分野		卒業に必要な単位数	
外国語科目		10 単位以上	
教養科目		14 単位以上	
専門科目	基礎専門科目	20 単位以上	
	共通専門科目	22 単位以上	
	固有専門科目	システムアーキテクトコース	自コースに配置された科目群から 48 単位以上 ※ただし自コースの必修科目の単位 をすべて含むこと
		セキュリティ・ネットワークコース	
		社会システムデザインコース	
		実世界情報コース	
		メディア情報コース	
		知能情報コース	
Information Systems Science and Engineering Course(ISSE)			
キャリア養成・グローバル科目			
合計		124 単位以上	

2 外国人留学生の科目履修

日本語を母国語としない日本語基準留学生が大学での学修に必要とされる高い日本語力を取得することができるように、外国語科目として、日本語を履修できるようにしています。

日本語基準留学生は、原則1・2回生で日本語科目を履修してください。

【履修科目について】

新入生は、1回生で履修する日本語科目(日本語Ⅶの6科目)がクラス指定されます。

配当回生	科目名	単位数
1 回生	日本語Ⅶ (読解 a)、(読解 b)	各 1 単位
	日本語Ⅶ (文章表現 a)、(文章表現 b)	
	日本語Ⅶ (聴解口頭 a)、(聴解口頭 b)	
2 回生	日本語Ⅷ (アカデミック日本語 a)、(アカデミック日本語 b)	
	日本語Ⅷ (キャリア日本語 a)、(キャリア日本語 b)	

【履修の注意事項について】

2回生(第3学期)以降については、英語科目のクラス編成上で人数に十分な空きがある場合のみ、英語科目の履修を認めることがあります。英語科目の履修を希望する場合は事務室に相談してください。

英語基準留学生については、日本語科目を履修することはできません。必ず英語科目を履修してください。

3 外国語科目の選択

「外国語選択」の登録は不要です。

国際化・ボーダーレス化の進んだ情報関連産業においては、知識や情報の収集・発信、さらには対話・討論をするための共通言語として、英語を運用する能力は必要不可欠です。情報理工学部では、低回生時に英語を専修として集中的に学ぶことにより、英語運用能力の向上を目指します。

英語科目群は、皆さんが、今、英語を使ってできることをベースに、英語使用の状況と内容をより学術的・専門的なものへと徐々に拡張するように設計されています。英語科目群の履修を通して、Reading, Listening, Spoken Interaction, Spoken Production, Writing の5つの領域で、情報科学コミュニティの一員に相応しい英語表現と英語運用能力を身につけます。

入学前に実施されるプレースメントテストの結果により、英語10単位分の科目パッケージを指定します。

4

英語クラス分けテスト（オンライン） （Information Systems Science and Engineering Course(ISSE) 除く）

情報理工学部では、入学前英語クラス分けテスト（テスト種別：TOEIC®L&R IP テスト（オンライン））を実施します。情報理工学部への新入生は入学手続要項を確認の上、指定された日程で必ず受験してください。オンラインテストの受験にあたっては、真摯に適正に取り組んでください。

情報理工学部では、各自の英語学力に適した科目パッケージを履修することで情報科学分野の人材に求められる英語運用能力を着実に身につけることを目指しています。各自が履修するパッケージは、今回のオンラインテストのスコアに応じて下表の2～5のいずれかに決定されます。各パッケージは必修の英語科目10単位で構成され、各学期に2科目ずつ履修することとなっています。

英語科目パッケージと履修学期

Package	1回生		2回生		3回生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
2	E107・E108	E109・E110	PC301・ AL302	PC303 †・ AL304 †		
3	E105・E106	E107・E108	E109・E110	PC301・ AL302		
4	E101・E102	E103・E104	E105・E106	E107・E108	E109・E110	
5	E091・E092	E101・E102	E103・E104	E105・E106	E107・E108	

† PC303・AL304のいずれかを選択

以下のWebサイトに詳細を掲載しておりますので、参照してください。

立命館大学 言語教育センターホームページ内（新入生の英語クラス分けテストのページ）
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/online/>



5 その他の事項について

①コース選択について

1 回生春学期（第 1 学期）終了時に、秋学期から所属するコースを選択します。これは、春学期に情報科学分野全般に必要な基礎知識を確実に身につけてから、各コースの専門分野をより深く学ぶためです。

配属にあたっては、基本的には学生の希望を優先しますが、希望者が超過したコースについては、1 回生春学期（第 1 学期）の成績（履修指定科目と指定された外国語科目の GPA）で決定します。

※ Information Systems Science and Engineering Course のみ入学時にコースを決定します。

コース選択にあたっては、コース紹介や研究室公開などの企画に積極的に参加するとともに、日頃からホームページを閲覧したり、教員や先輩の話の聞いたりするなど、各自でも情報収集に努めてください。

②進級制度について

各コースにおいて系統的に学修できる履修モデルを提供すると同時に、一定の段階で単位修得状況を確認し、適宜指導を行う制度を導入しています。この制度により、低回生において基礎学力の形成を行った上で、専門知識を深めることができます。3 回生進級要件は、下表のとおりです。

総修得単位数（要卒）	50 単位
------------	-------

* 2 回生秋学期（第 4 学期）終了時まで、この要件を満たしていない場合は再度 2 回生となり、3 回生に進級できません。

* 科目によっては、単位授与が翌年度 4 月に確定し、遡って前年度単位として授与する場合がありますが、「進級」の合否判定結果を遡って変更することはありません。

③パソコン（PC）について

情報理工学部では、2021 年度入学者より、授業を受けるためにはご自身のノートパソコンが必携になりました（Information Systems Science and Engineering Course (ISSE) を除く）。パソコンは各自で入学前に購入して頂き、入学直後のガイダンスから使用していきます。

詳細は学部ホームページで 2026 年 2 月頃に案内を行います。

学部ホームページ URL : <https://www.ritsumeai.ac.jp/ise/>

※ 学部トップページの「NEWS」へ掲載予定

※ その他、「新入生のためのスタートアップサイト」も掲載予定

◆海外留学プログラム「学部共同学位プログラム (DUDP)」1 回生からの参加者の募集について

1 立命館大学 学部共同学位プログラム (以下、DUDP) とは

学部共同学位プログラム (Dual Undergraduate Degree Program / DUDP) は、立命館大学と海外の大学双方の卒業要件を満たすことにより、最短 4 年間 (立命館大学 2 年、派遣先大学 2 年*) で 2 つの大学の学士号 (学部卒業資格) を取得することができる海外留学プログラムです。

卒業生はその能力を非常に高く評価されており、世界を舞台に活躍しています。短期間で 2 つの学位を取得するため、学業は大変厳しいですが、その分やりがいと満足感も大きく、卒業後に広く世界で活躍する基盤を作る機会となります。みなさんのプログラムへのチャレンジをお待ちしています!

*派遣先大学での所属学部・専攻および履修状況によっては、留学期間が 2 年以上になる場合があります。



DUDP についての詳細は以下の立命館大学海外留学ホームページを参照してください。
<https://www.ritsumeit.ac.jp/studyabroad/program/univ/advanced/program02.html/>



2 プログラム・派遣先大学の特徴

■ アメリカン大学との学部共同学位プログラム (AU -DUDP) 夏期出発

1994 年に日本初の学部共同学位プログラムとして開始しました。アメリカン大学の 5 学部 (国際関係学部、経営学部、文理学部、公共政策学部、コミュニケーション学部) のうち希望の学部にも所属します。大学での勉強の他に、インターンシップや短期の海外留学プログラムなども豊富で、様々な経験を積むことができます。また世界の政治の中心であるワシントン D.C. には国際機関やマスコミの支局も多く、様々な人脈を築くことが可能です。



【派遣先大学：アメリカン大学 (アメリカ・ワシントン D.C.)】

アメリカの首都ワシントン D.C. の北西部郊外にある私立のリベラル・アーツ・カレッジ。初代アメリカ大統領ジョージ・ワシントンによって発案された「偉大な大学を首都に設立する」という考えに基づき、1893 年に議会の決議によって設立が許可された大学です。総数 14,000 人以上の学生が所属しており、世界 130 以上の国・地域から多くの留學生が学んでいます。

3 応募・審査の流れ

DUDP は 1 回生派遣と 2 回生派遣の 2 種類があります。1 回生からの DUDP 派遣を希望する方は、入学前に「2026 年度学部共同学位プログラム (DUDP) 入学前募集 (1 回生からの派遣者)」に応募し、合格する必要があります。募集要項は以下の URL からダウンロードしてください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/program/univ/advanced/program02.html/>

< 留意事項 >

- 入学前に「DUDP 派遣者」として合格した時点では、立命館大学からの「派遣候補生」であり、DUDP 派遣が確定するわけではありません。大学入学後、派遣先大学に改めて必要な出願手続きを行い、派遣先大学の審査に合格し、入学が許可された段階で、最終的に派遣が決定します (6 月下旬～7 月中旬頃)。
- 2 回生からの派遣を希望する人は、本学入学後、1 回生の 10 月下旬頃に実施される DUDP の学内選考に応募してください。なお、応募要件等は変更の可能性があります。必ず、入学後に公開される募集要項で最新の情報を確認してください。

< DUDP 入学前募集 (1 回生からの派遣者) 概要 >

(1) 募集対象 2026 年度入学試験の合格者で本学の入学意志を持つ者

- 一部対象とならない入試方式があります。
- 詳細は「2026 年度学部共同学位プログラム (DUDP) 入学前募集 (1 回生からの派遣者) 募集要項」で確認してください。

(2) 派遣先大学の募集学部・募集人数

派遣先大学	募集学部	募集人数
アメリカン大学 ※	国際関係学部、文学部、経営学部、政策科学部、経済学部	3 名

※ アメリカン大学 2 回生派遣の募集学部は法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、経済学部、経営学部、政策科学部です。

(3) 応募要件

【成績】 応募時の高等学校の全体の評定平均値が、5 段階で「3.5」以上の者。

【英語】 下記の英語スコアを取得している者

TOEFL iBT® テスト 85 点以上 (各セクション 20 点以上) または

IELTS6.5 以上 (各セクション 6.0 以上)

(4) 応募受付期間：2026 年 2 月 16 日 (月) ～ 2 月 24 日 (火) <必着>

(5) 面接 審査日：2026 年 3 月 15 日 (日) * オンラインで実施予定

(6) 審査方法：書類審査、および面接審査 (日英両言語による個人面接) を行い 1 回生からの DUDP 派遣候補者を決定します。

4 その他、問い合わせ先

1. 学部共同学位プログラム (DUDP) 派遣者の授業料について

留学中は、派遣先大学へ所定の授業料を納入することになります。なお、留学期間中は立命館大学には授業料を納める必要はありませんが、特別在籍料 (春学期・秋学期 各 5,000 円) 等を納入していただきます。

2. 問い合わせ先：立命館大学衣笠国際教育センター

【電話：075-465-8229 (土・日・祝日除く 9:00～17:30) / Email: ru-intl@st.ritsumei.ac.jp】

* 詳細な情報は「2026 年度学部共同学位プログラム (DUDP) 入学前募集 (1 回生からの派遣者) 募集要項」を確認してください。(https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/program/univ/advanced/program02.html/)



問い合わせ窓口一覧

履修・外国語選択に関する 問い合わせ	＜衣笠キャンパス＞			
	法学部事務室	075-465-8175	文学部事務室	075-465-8187
	産業社会学部事務室	075-465-8185	デザイン・アート学部設置準備事務室	075-466-3003
	国際関係学部事務室	075-465-1211	言語教育センター(衣笠)	075-465-7878
	＜びわこ・くさつキャンパス (B K C)＞			
	経済学部事務室	077-561-3940	生命科学部事務室	077-561-5021
	スポーツ健康科学部事務室	077-561-3760	薬学部事務室	077-561-2563
	食マネジメント学部事務室	077-561-4801	言語教育センター(BKC)	077-561-3358
	理工学部事務室	077-561-2625		
	＜大阪いばらきキャンパス (O I C)＞			
	経営学部事務室	072-665-2090	映像学部事務室	072-665-2071
	政策科学部事務室	072-665-2080	情報理工学部事務室	072-665-2075
総合心理学部事務室	072-665-2190	言語教育センター(OIC)	072-665-2061	
グローバル教養学部事務室	072-665-2492			
新入生の英語クラス分け テストに関する問い合わせ	＜全学部＞			
	言語教育センター（土日祝を除く 9:00～17:00）※ 3/28（土）のみ対応します			
	【専用窓口】	072-665-2137	※ 3/17～3/28 の期間開設	
	【上記期間以外】	072-665-2061		

* この印刷物に記載の TOEIC® および TOEFL® は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

* この印刷物に記載の TOEIC®L&R テストの「L&R」は LISTENING AND READING の短縮形です。